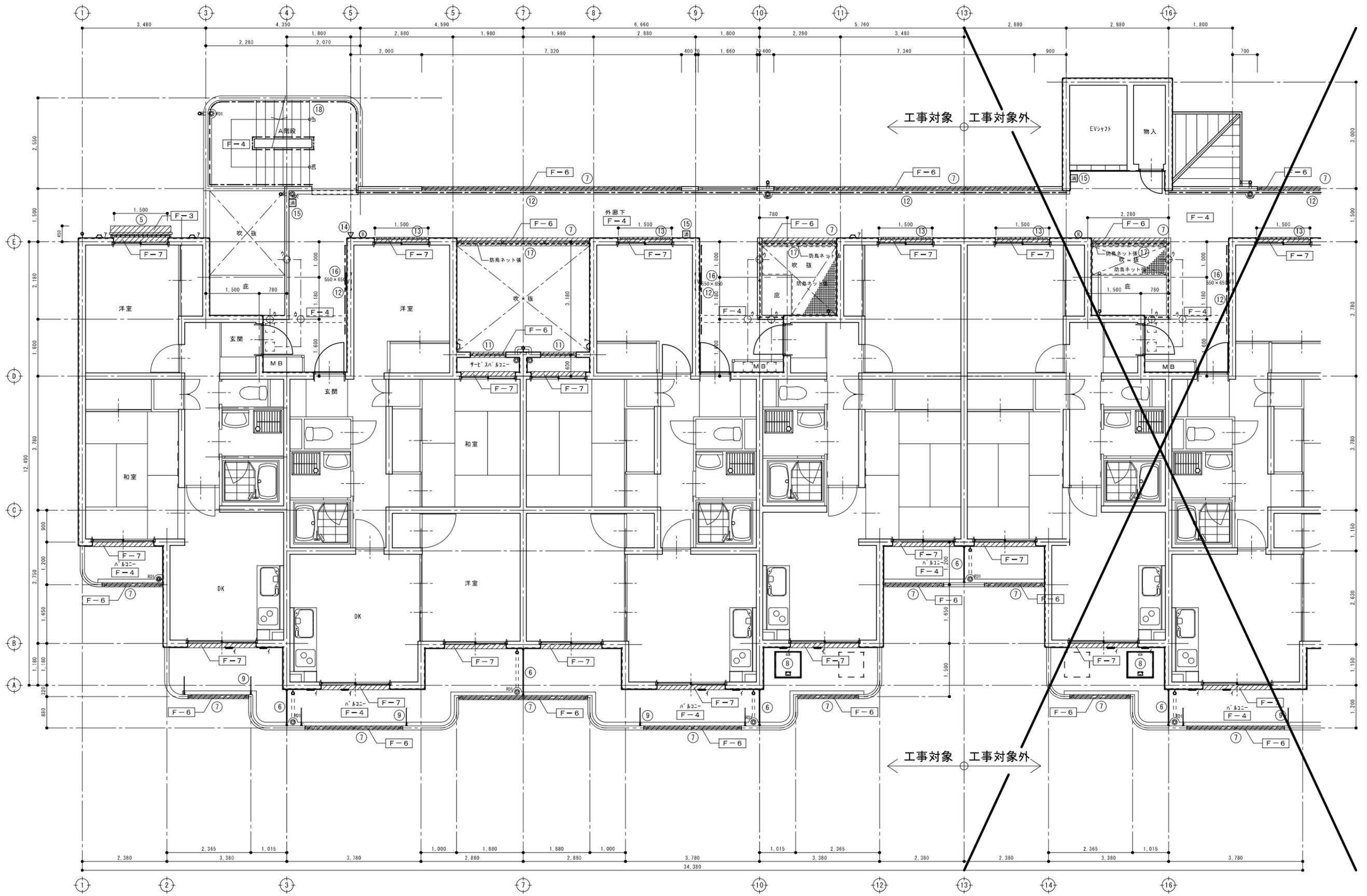


凡例  
 // : 笠木・水切り防水改修部分を表す。

1階平面詳細図 S=1/50

記号	名称	改修内容	記号	名称	改修内容	記号	名称	改修内容
⊙R01	ルーフトレイン (縦引) 100φ		---	防鳥ネット	一時撤去・再取付	⊙	非常警報ベル	現況のまま
⊙R02	ルーフトレイン (横引) 100φ		△7	スチル製深型パイプフード125φ	清掃、周囲シーリング：撤去・新設			
⊙	消火器 (収納箱) ABC型10号	撤去・新設	▽	スチル製ベントキャップ150φ	清掃、周囲シーリング：撤去・新設			
▽	階数表示板 樹脂製150×150	撤去・新設	(-)7	スチル製排気管80φ下り壁貫通部	清掃、周囲シーリング：撤去・新設			
---	アルミ柵手すり (ブラケット式)	現況のまま						※その他の記号は、外埠上表参照。



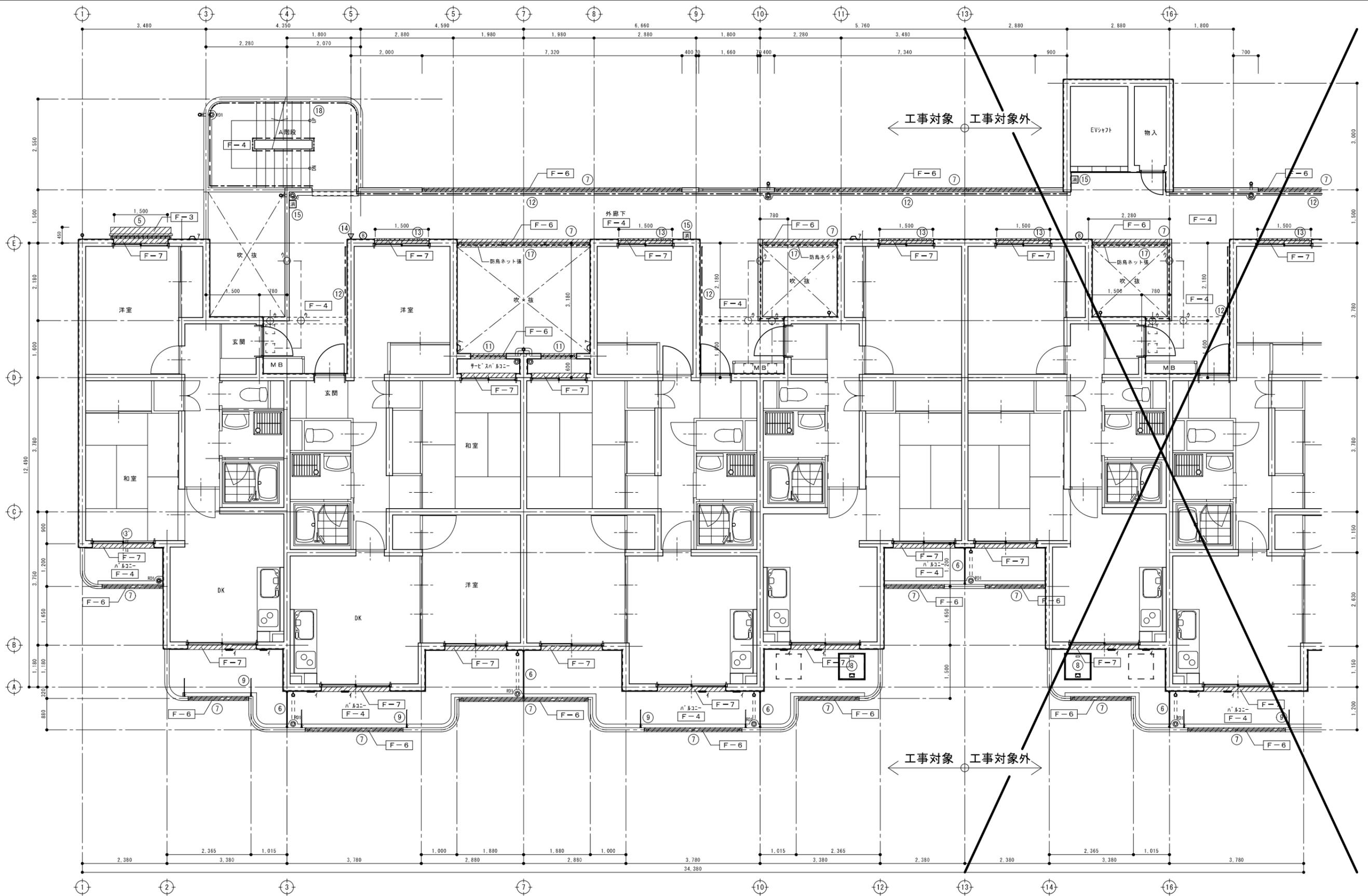
工事対象 工事対象外

工事対象 工事対象外

凡例 2階平面詳細図 S=1/50

/// : 笠木・水切り防水改修部分を表す。

記号	名称	改修内容	記号	名称	改修内容	記号	名称	改修内容
⊙R01	ルーフトレイン (縦引) 100φ		---	防鳥ネット	一時撤去・再取付	⊙	非常警報ベル	現況のまま
⊙R02	ルーフトレイン (横引) 100φ		△7	スチル製深型パイプフード125φ	清掃、周囲シーリング：撤去・新設			
⊙	消火器 (収納箱) ABC型10号	撤去・新設	△7	スチル製ベントキャップ150φ	清掃、周囲シーリング：撤去・新設			
▽	階数表示板 樹脂製150×150	撤去・新設	(L)→	スチル製排気管80φ下り壁貫通部	清掃、周囲シーリング：撤去・新設			
---	アルミ柱手すり (ブラケット式)	現況のまま						※その他の記号は、外部仕上表参照。



工事対象 工事対象外

工事対象 工事対象外

凡例

/// : 笠木・水切り防水改修部分を表す。

3階平面詳細図 S=1/50

記号	名称	改修内容	記号	名称	改修内容	記号	名称	改修内容
⊙R01	ルーフトレイン (縦引) 100φ		---	防鳥ネット	一時撤去・再取付	⊙	非常警報ベル	現況のまま
⊙R02	ルーフトレイン (横引) 100φ		△7	スチル製深型パイプフード125φ	清掃、周囲シーリング：撤去・新設			
⊙	消火器 (収納箱) ABC型10号	撤去・新設	△7	スチル製ペントキャップ150φ	清掃、周囲シーリング：撤去・新設			
▽	階数表示板 樹脂製150×150	撤去・新設	△7	スチル製排気管80φ下り壁貫通部	清掃、周囲シーリング：撤去・新設			
---	アルミ柱手すり (ブラケット式)	現況のまま						※その他の記号は、外部下表参照。

訂正

備考

春日部市都市整備部  
住宅政策課

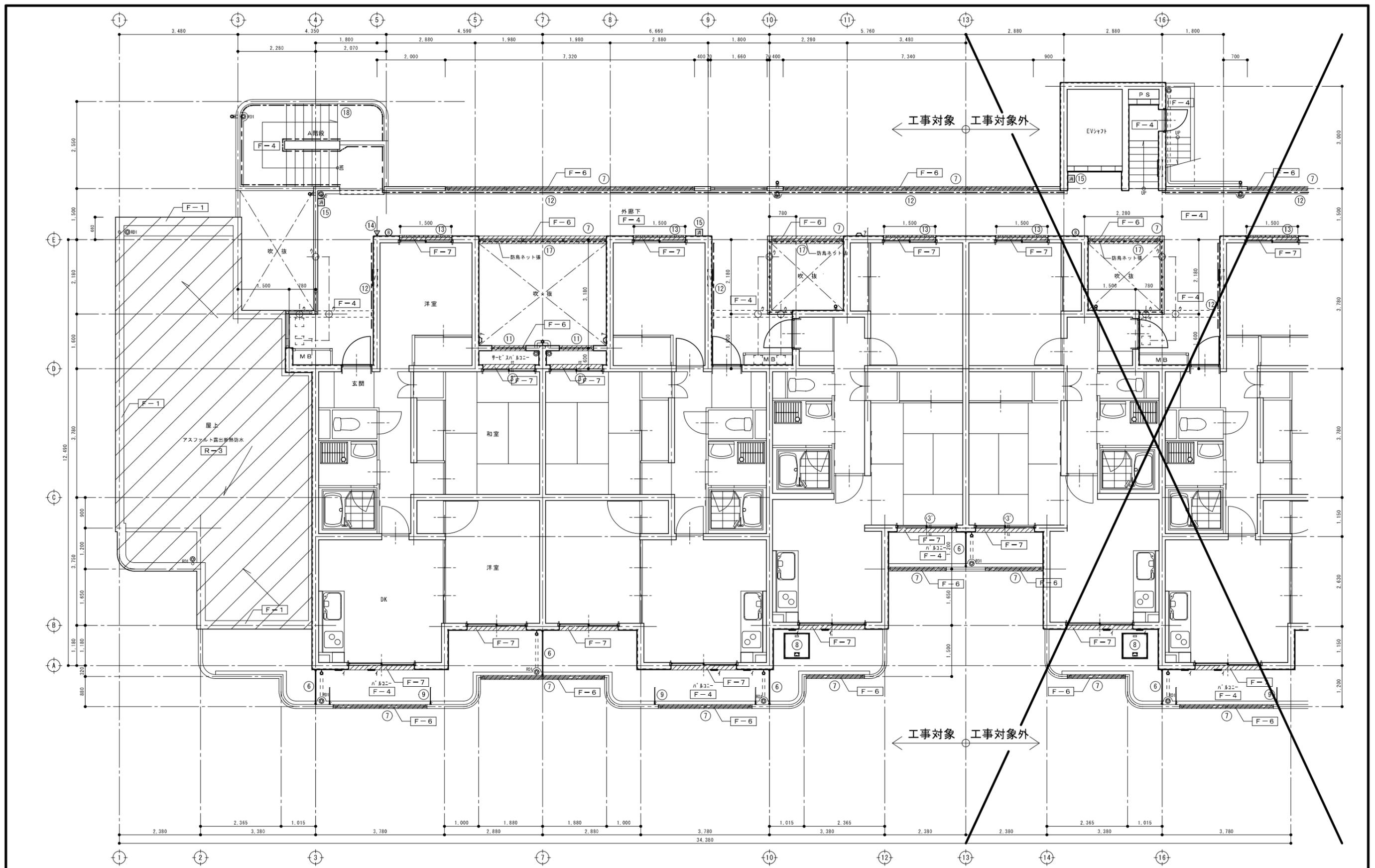
工事名称 市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事 (2号棟2工区)

図面名称 3階平面詳細図-1

図面番号

縮尺 A1:1/50  
A3:1/100

A - 22

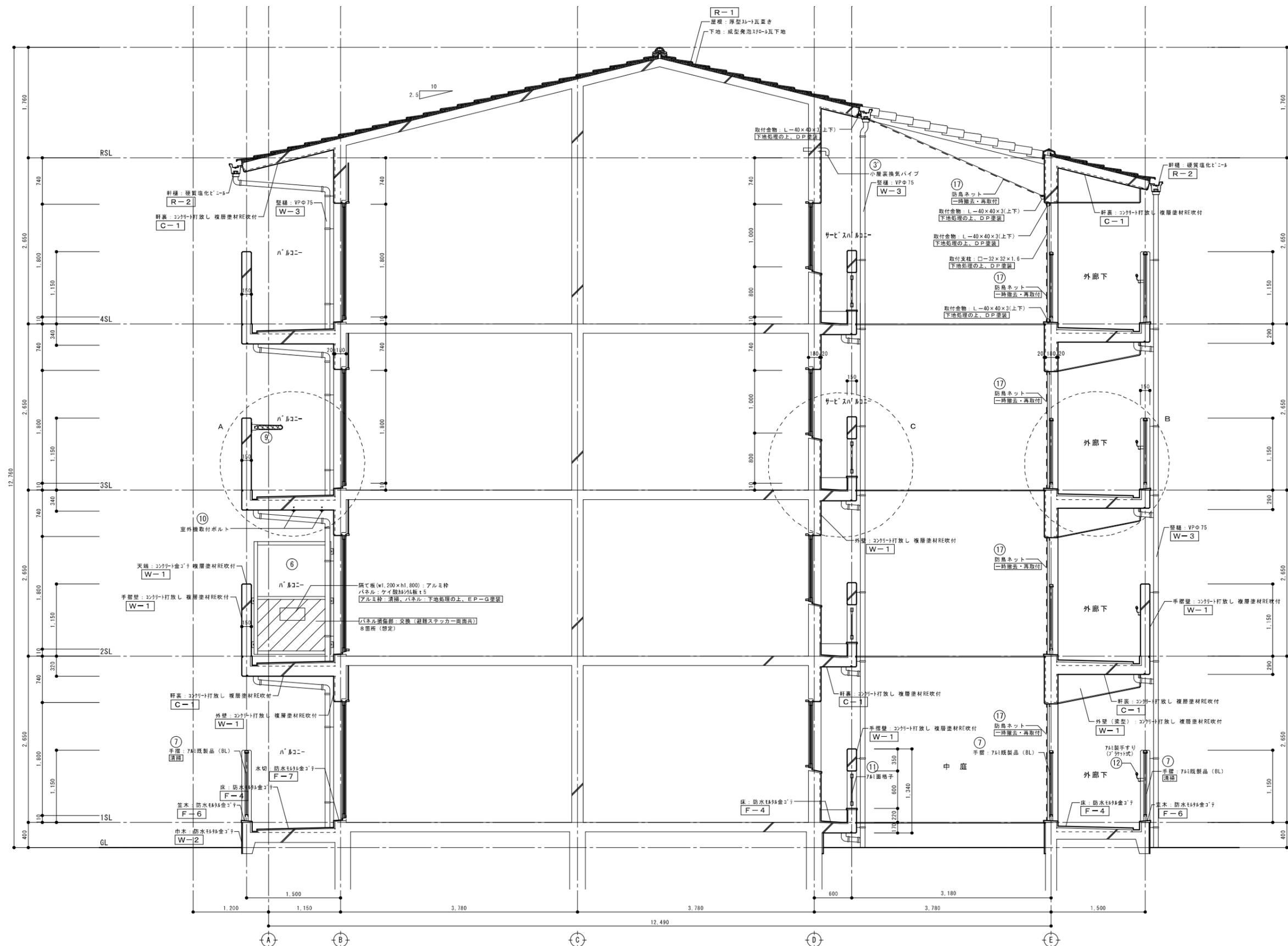


凡例

: 屋上防水改修部分を表す。  
 : 窓木・水切り防水改修部分を表す。

4階平面詳細図 S=1/50

記号	名称	改修内容	記号	名称	改修内容	記号	名称	改修内容
⊙R01	ルーフトレイン (縦引) 100φ		---	防鳥ネット	一時撤去・再取付	⊙	非常警報ベル	現況のまま
⊙R02	ルーフトレイン (横引) 100φ		△7	スチル製深型パイプフード125φ	清掃、周囲シーリング:撤去・新設			
⊠	消火器 (収納箱) ABC型10号	撤去・新設	△7	スチル製ベントキャップ150φ	清掃、周囲シーリング:撤去・新設			
▽	階数表示板 樹脂製150×150	撤去・新設	(-)->	スチル製排気管80φ下り壁貫通部	清掃、周囲シーリング:撤去・新設			
---	アルミ柵手すり (ブラケット式)	現況のまま						※その他の記号は、外埠上表参照。



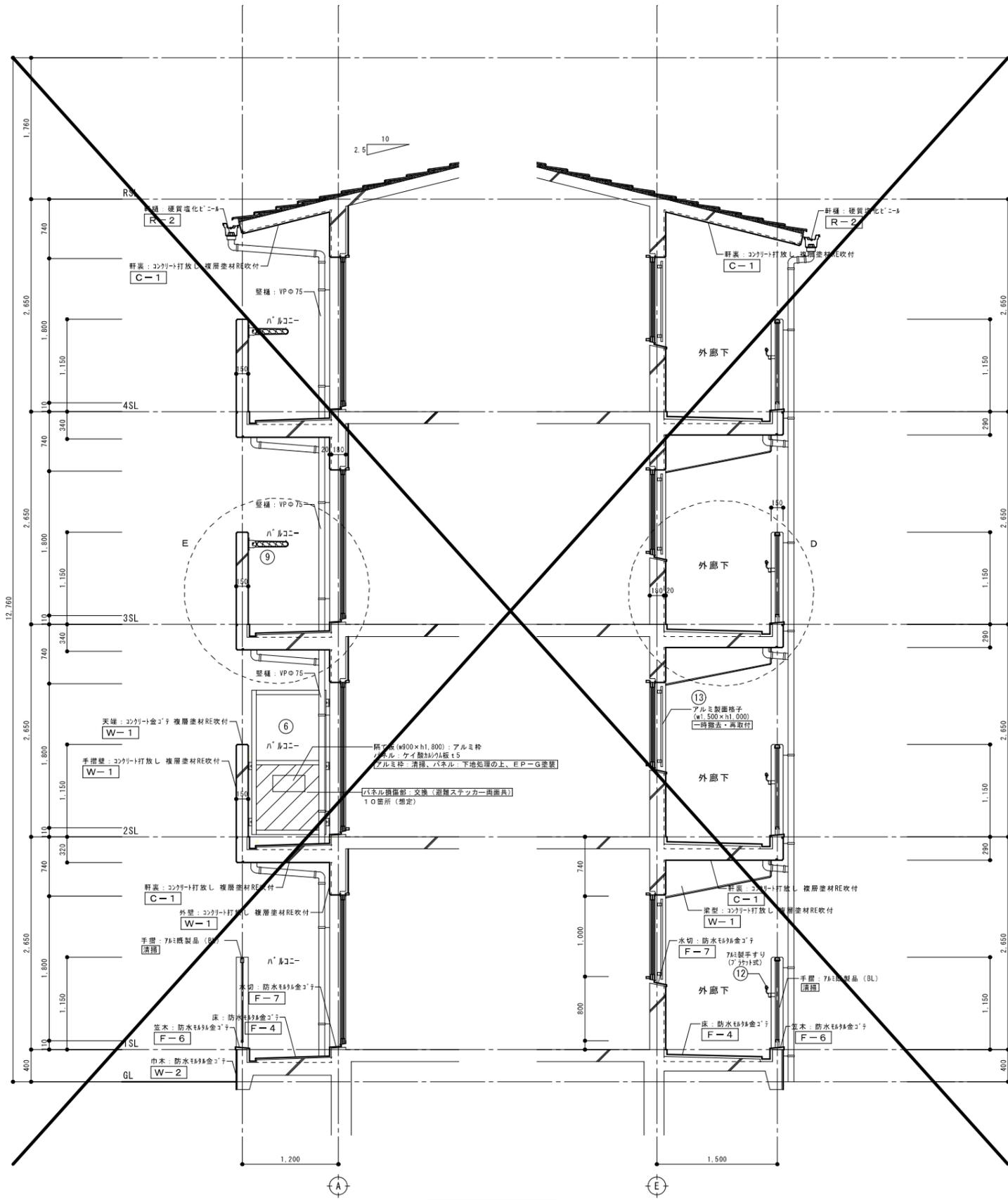
A 矩形図 S=1/30

- 凡例
- \*-\*: 記号は、別図（外部仕上表）参照とする。
  - \*\*\*: 改修工事内容を表す。
  - ※記入事項は、各階共通とする。

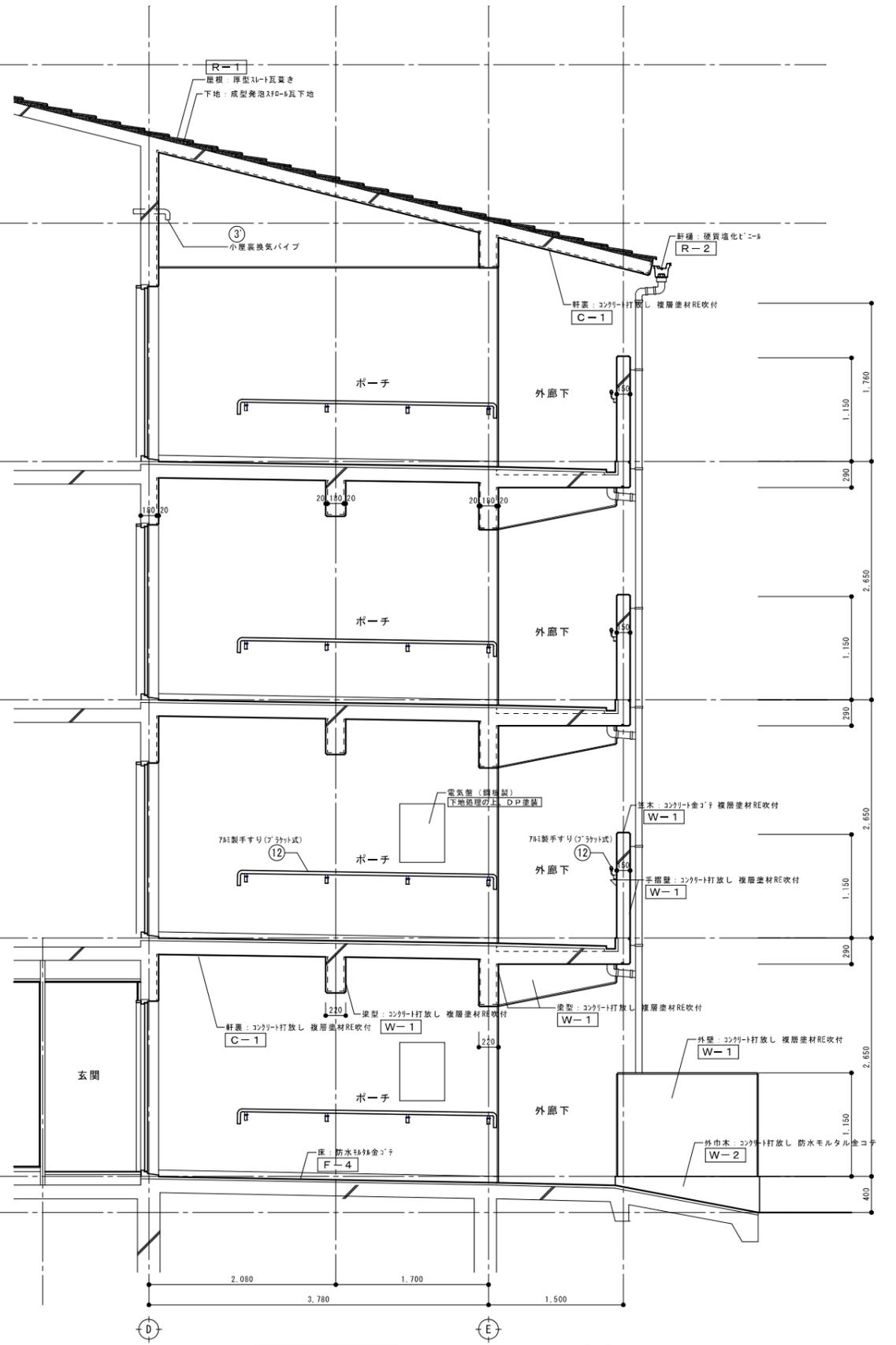
訂正	備考

春日部市都市整備部  
住宅政策課

工事名称	市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事(2号棟2工区)	図面番号	A-26
図面名称	矩計図-1	縮尺	A1:1/30 A3:1/60



B 矩形図 S=1/30



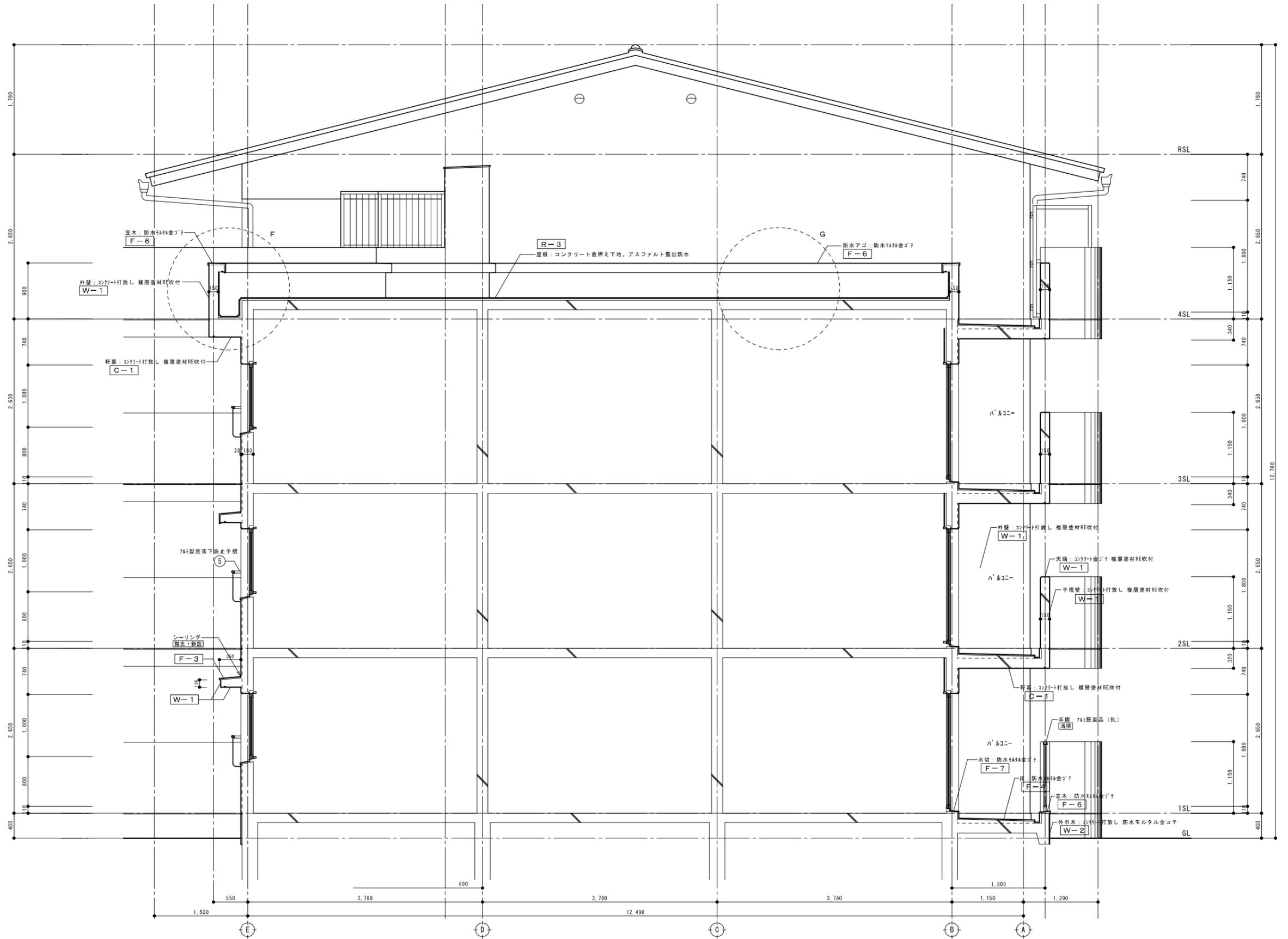
C 矩形図 S=1/30

- 凡例
- \*-\*: 記号は、別図 (外部仕上表) 参照とする。
  - \*\*\*: 改修工事内容を表す。
  - \*記入事項は、各階共通とする。

訂正	備考

春日部市都市整備部  
住宅政策課

工事名称	市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事 (2号棟2工区)	図面番号	A - 27
図面名称	矩計図-2	縮尺	A1:1/30 A3:1/60



D 矩形図 S=1/30

凡例

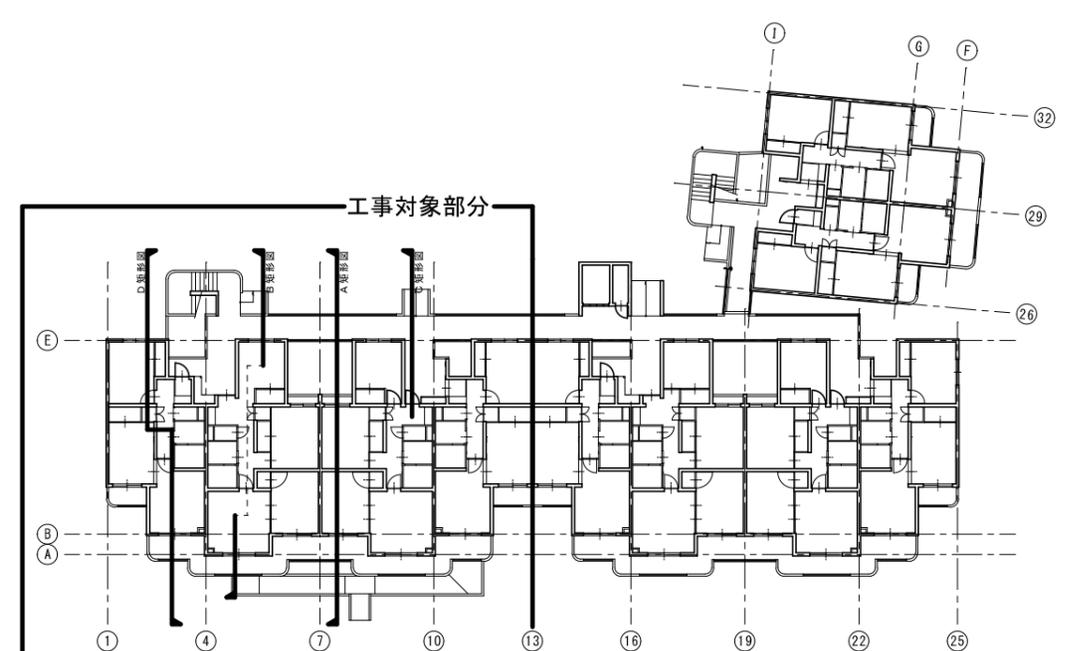
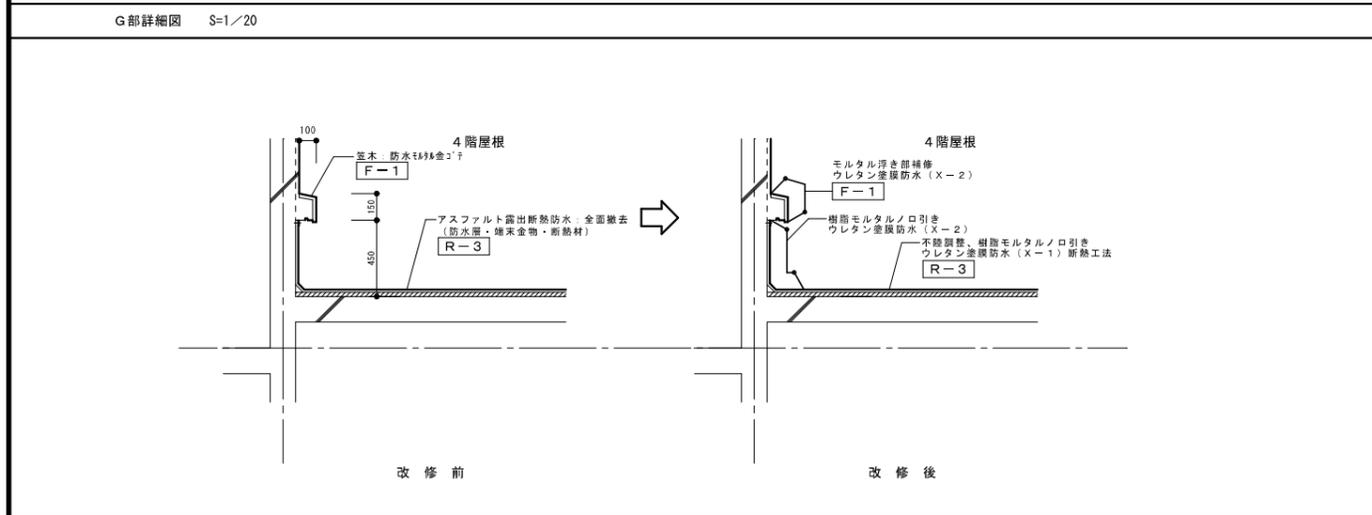
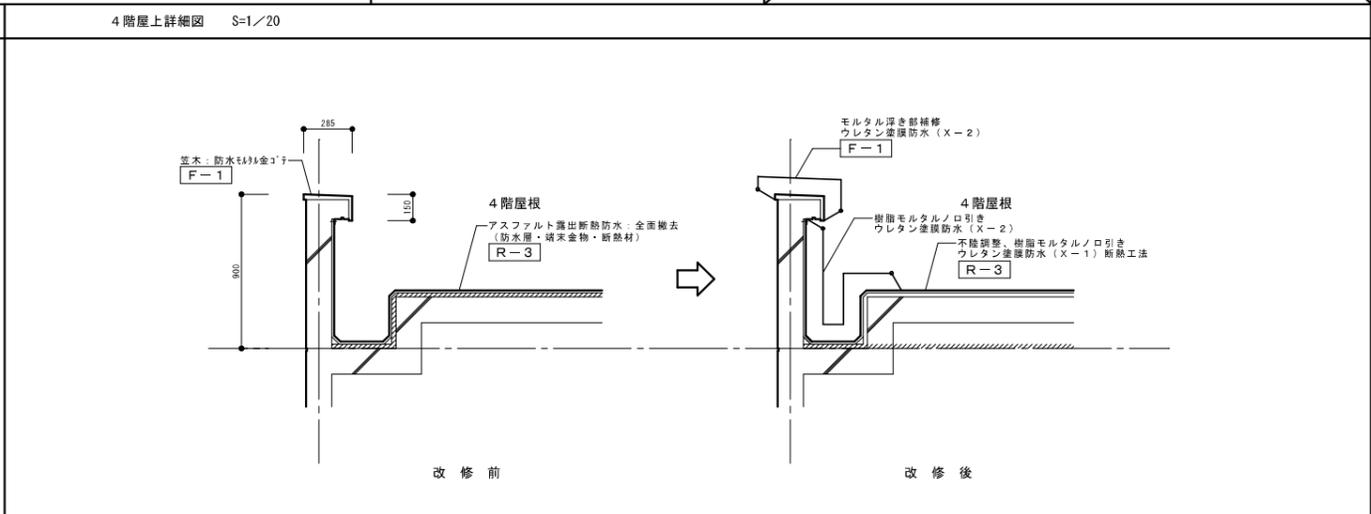
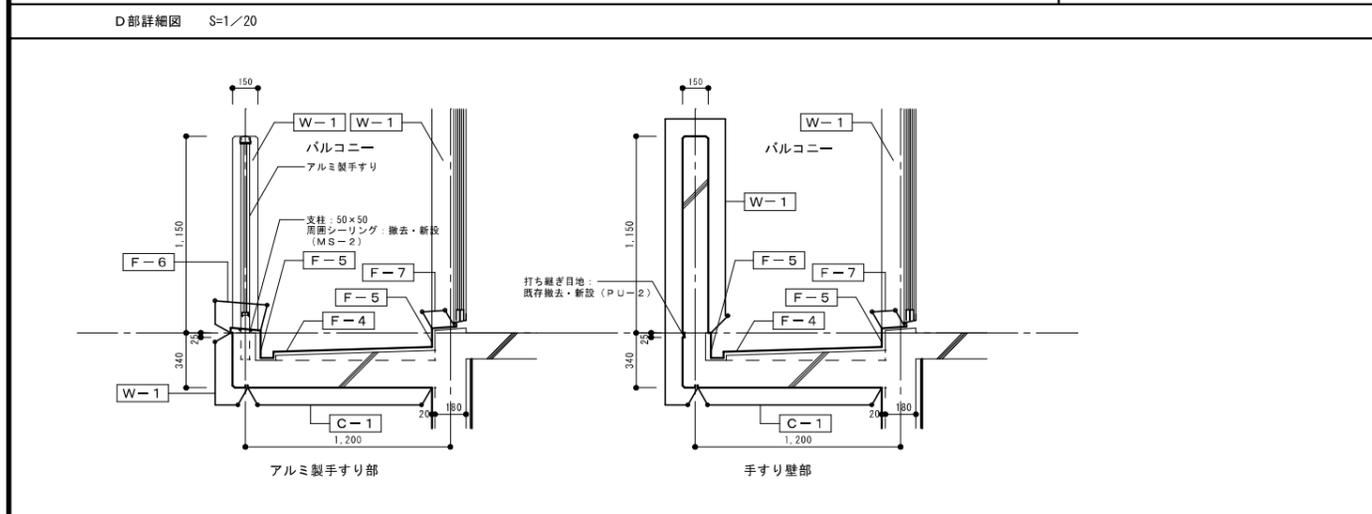
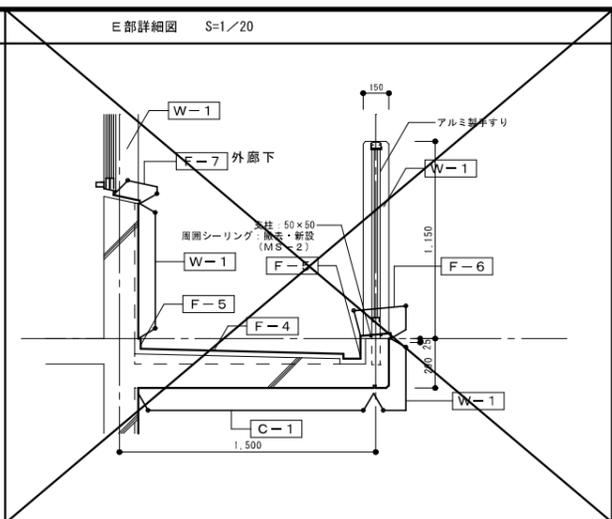
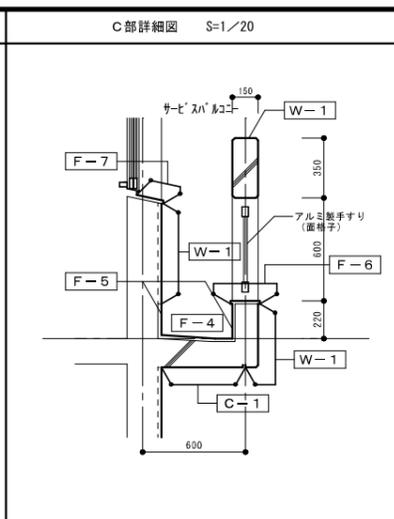
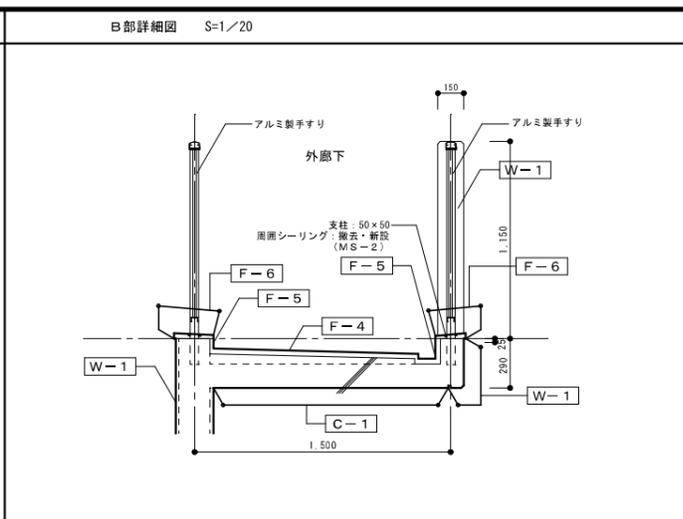
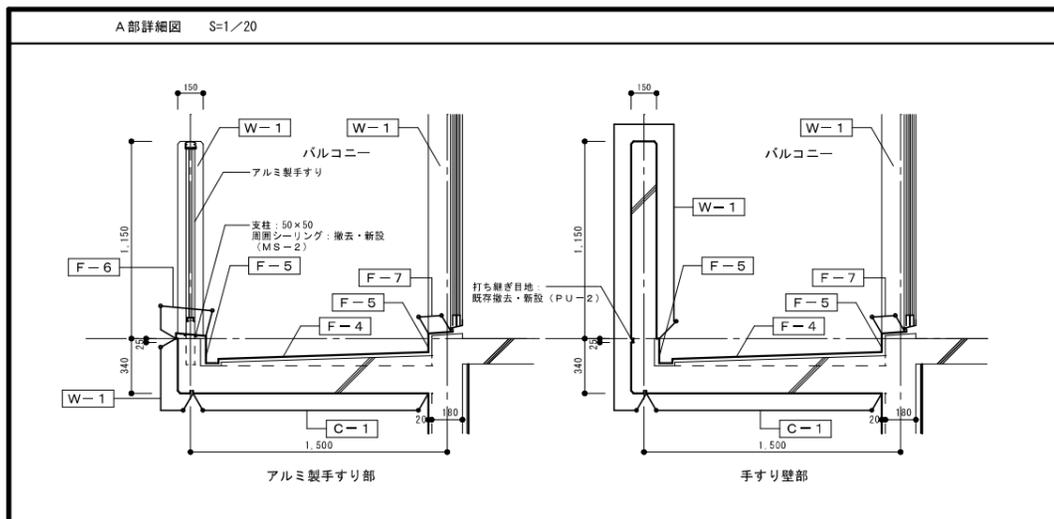
- \*-\*: 記号は、別図（外部仕上表）参照とする。
  - \*\*\*: 改修工事内容を表す。
- ※記入事項は、各階共通とする。

訂正	備考

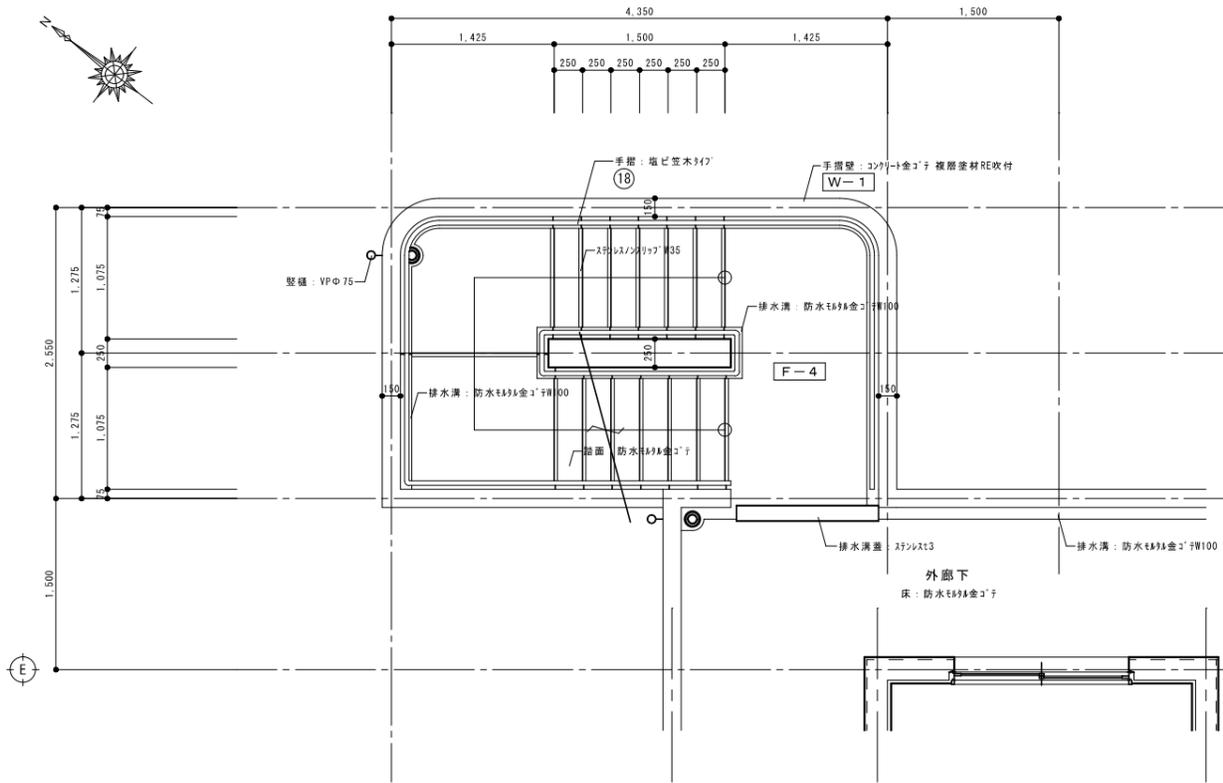
春日部市都市整備部  
住宅政策課

工事名称 市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事（2号棟2工区）  
図面名称 矩計図-3

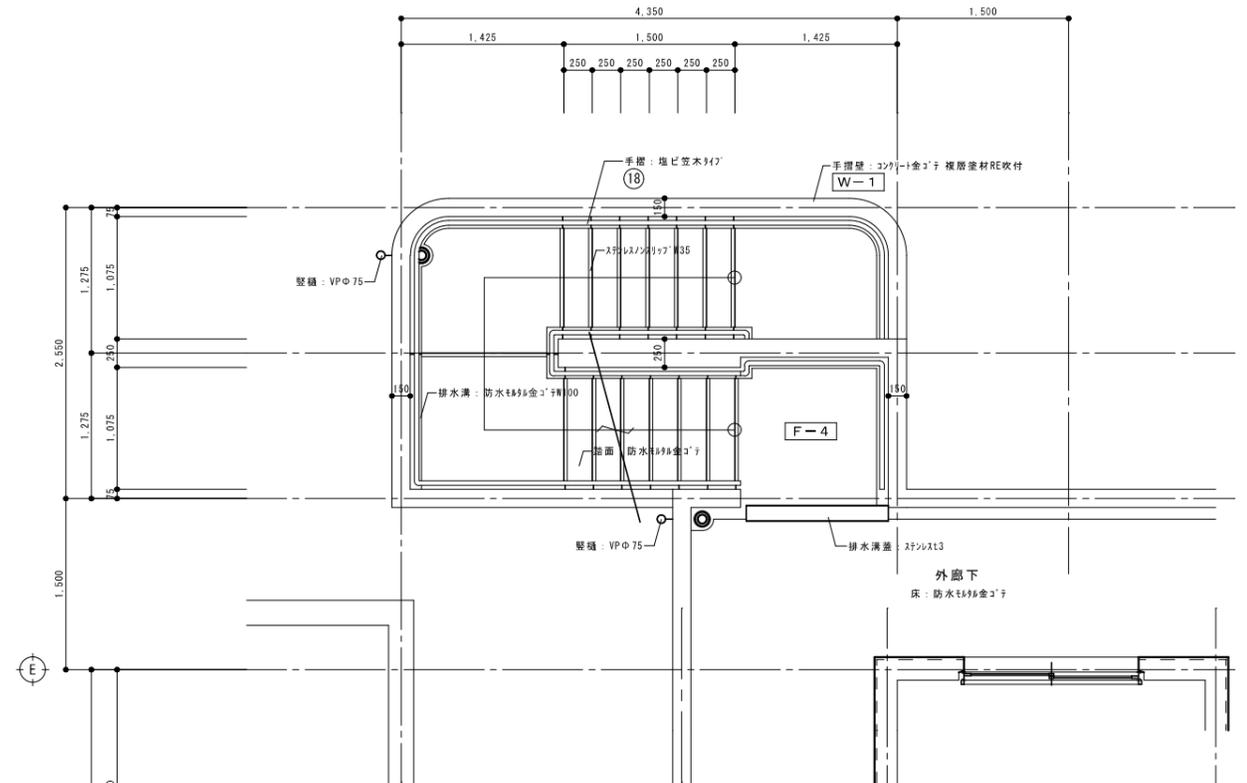
縮尺 A1:1/30  
A3:1/60  
図面番号 A-28



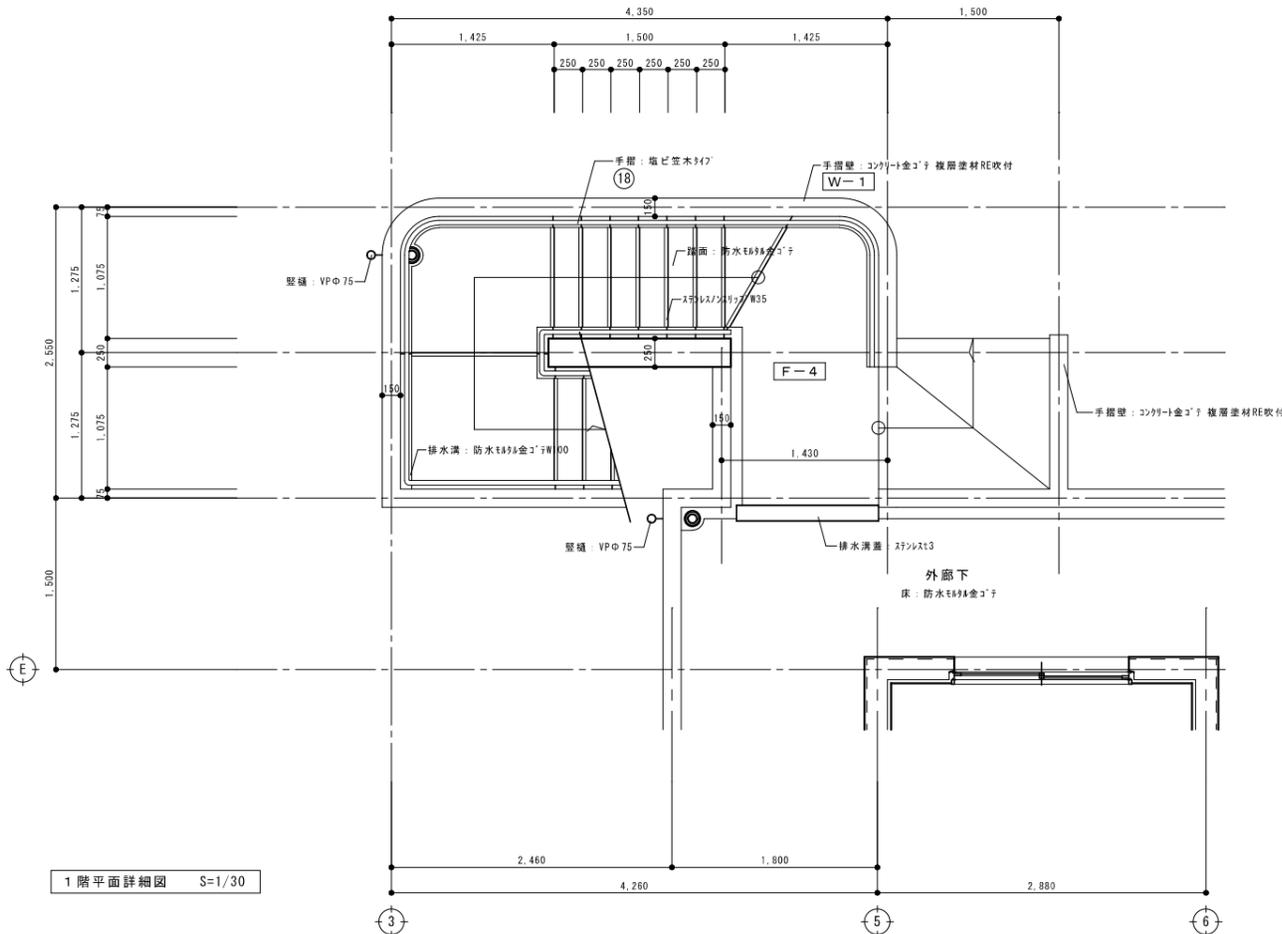
矩形図キープラン S=1/200



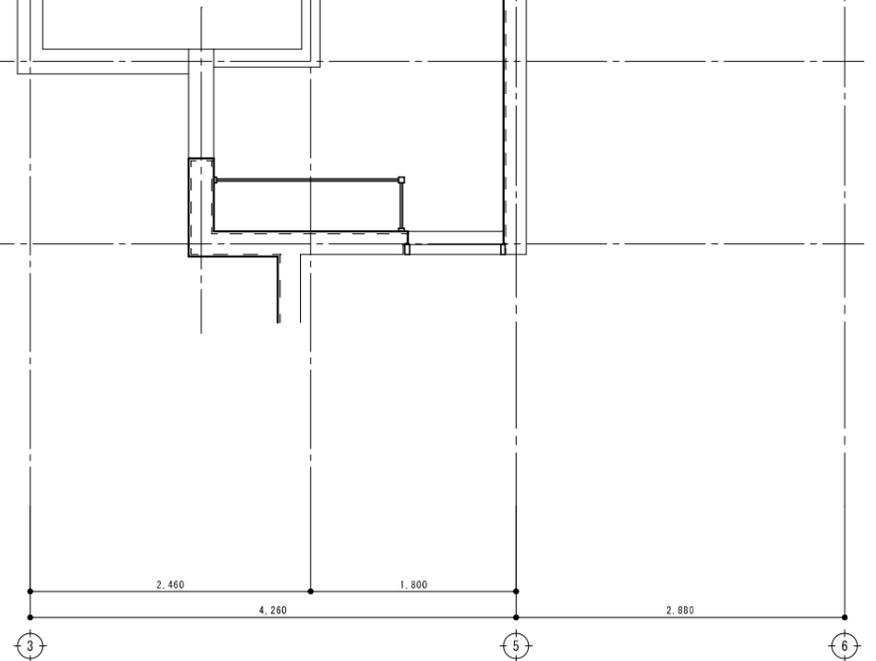
2階平面詳細図 S=1/30



4階平面詳細図 S=1/30



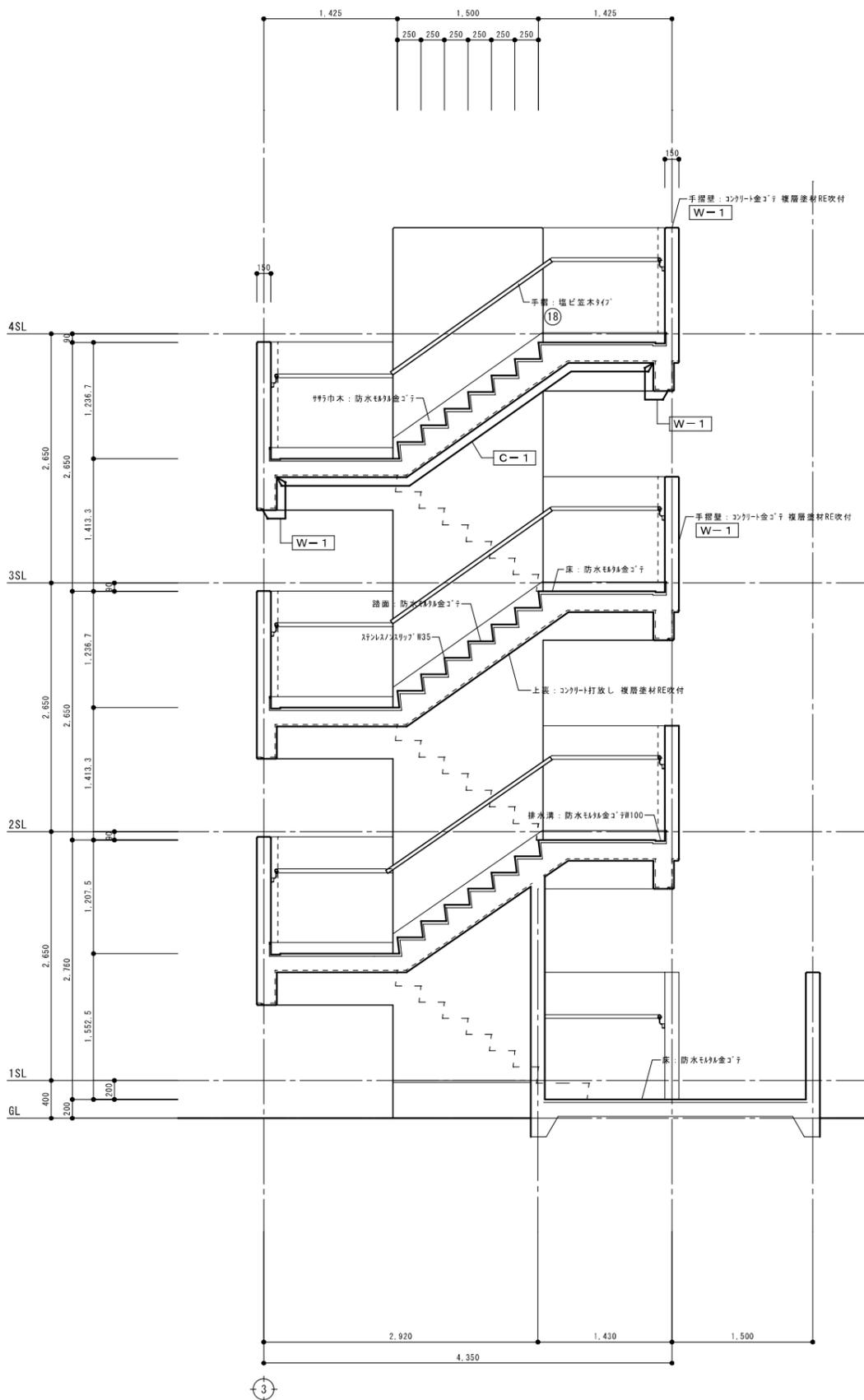
1階平面詳細図 S=1/30



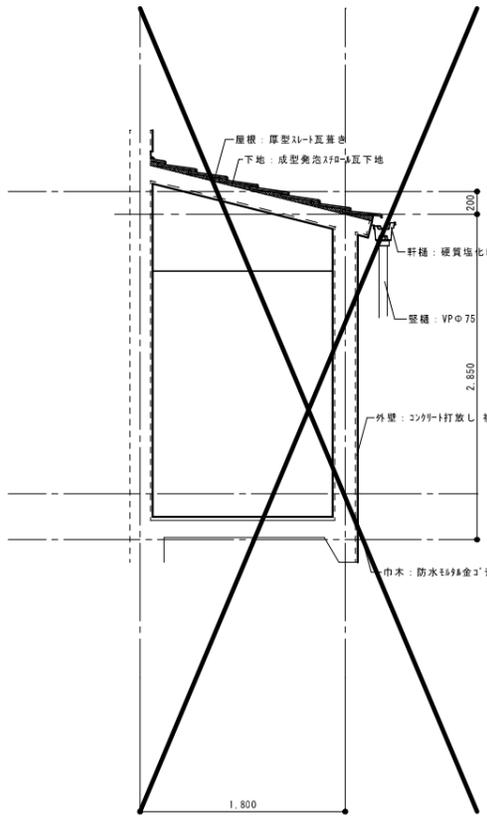
訂正	備考


春日部市都市整備部  
住宅政策課

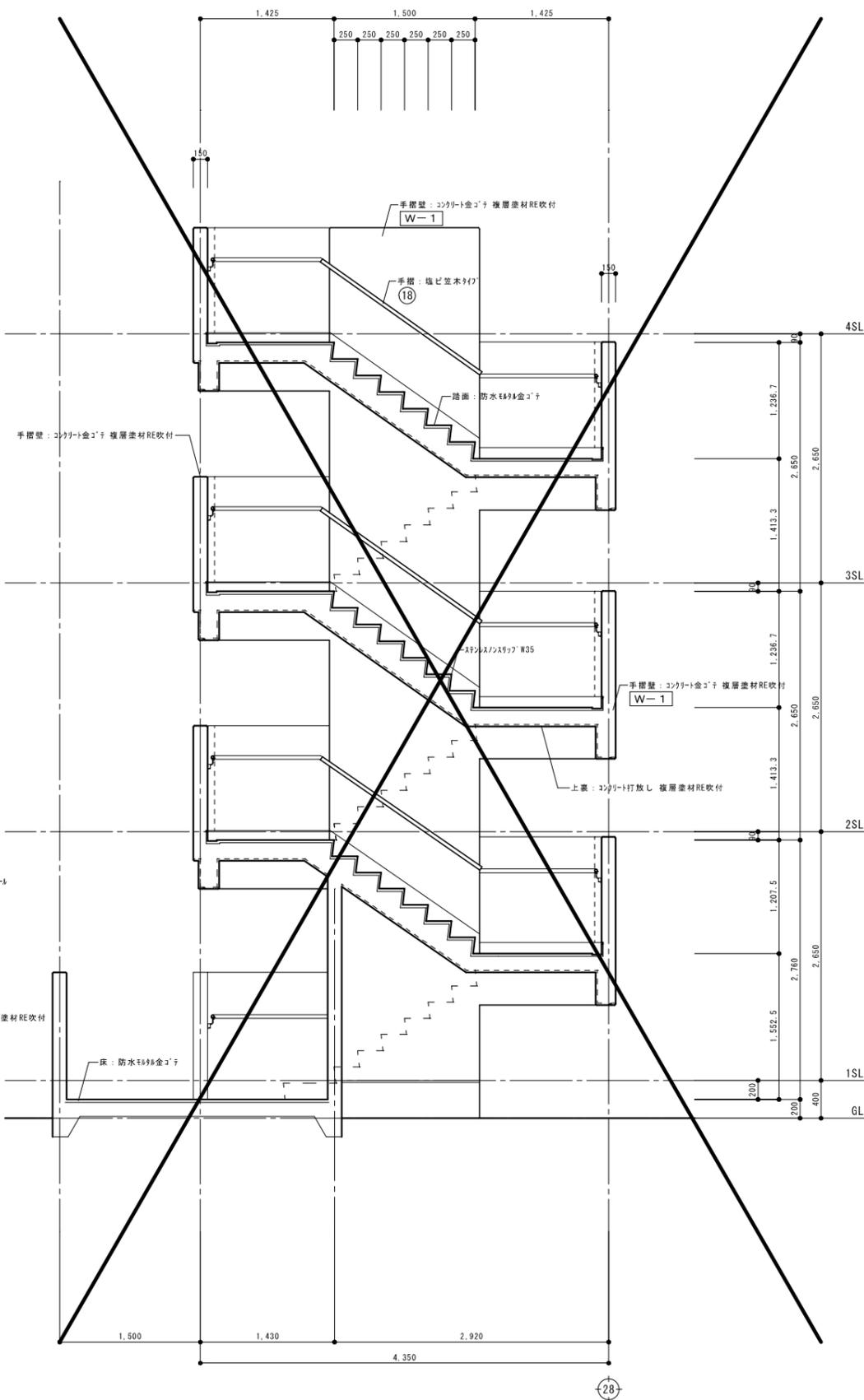
工事名称	市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事(2号棟2工区)	図面番号	A-32
図面名称	階段詳細図-1(平面図)	縮尺	A1:1/30 A3:1/60



A 階段断面詳細図 S=1/30



エントランス断面詳細図 S=1/30



B 階段断面詳細図 S=1/30

訂正	備考

春日部市都市整備部  
住宅政策課

工事名称 市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事(2号棟2工区)  
図面名称 階段詳細図-2(断面図)

縮尺 A1:1/30  
A3:1/60  
図面番号 A-33



1階天井伏図 S=1/100 特記なき部分は、C-1とする。その他の記号は、別紙外部仕上表参照。

軒裏・天井 仕上

記号	改修前		改修後		備考
	既存仕上		下地処理	改修仕上	
C-1	天井：打ち放しコンクリート、RE吹付（複層仕上塗材RE アクリルエマルジョン系）★		RE吹付アスベスト除去、高圧水洗浄（30Ma）、劣化部補修、下地調整（C-1）	可とう形外装薄塗材Si	
W-1	打ち放しコンクリート、RE吹付（複層仕上塗材RE アクリルエマルジョン系）★		劣化部補修、下地調整（C-1）	防水型複層塗材E（シリコン系トップコート）	

訂正


備考


春日部市都市整備部  
住宅政策課



2階天井伏図 S=1/100 特記なき部分は、C-1とする。その他の記号は、別紙外部仕上表参照。

軒裏・天井 仕上

記号	改修前	改修後		備考
	既存仕上	下地処理	改修仕上	
C-1	天井：打ち放しコンクリート、RE吹付（複層仕上塗材RE アクリルエマルジョン系）★	RE吹付アスベスト除去、高圧水洗浄（30Ma）、劣化部補修、下地調整（C-1）	可とう形外装薄塗材Si	
W-1	打ち放しコンクリート、RE吹付（複層仕上塗材RE アクリルエマルジョン系）★	劣化部補修、下地調整（C-1）	防水型複層塗材E（シリコン系トップコート）	

訂正

備考

春日部市都市整備部  
住宅政策課

工事名称 市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事（2号棟2工区）

図面名称 2階天井伏図

縮尺 A1:1/100  
A3:1/200

図面番号

A - 35



3階天井伏図 S=1/100 特記なき部分は、C-1とする。その他の記号は、別紙外部仕上表参照。

軒裏・天井 仕上

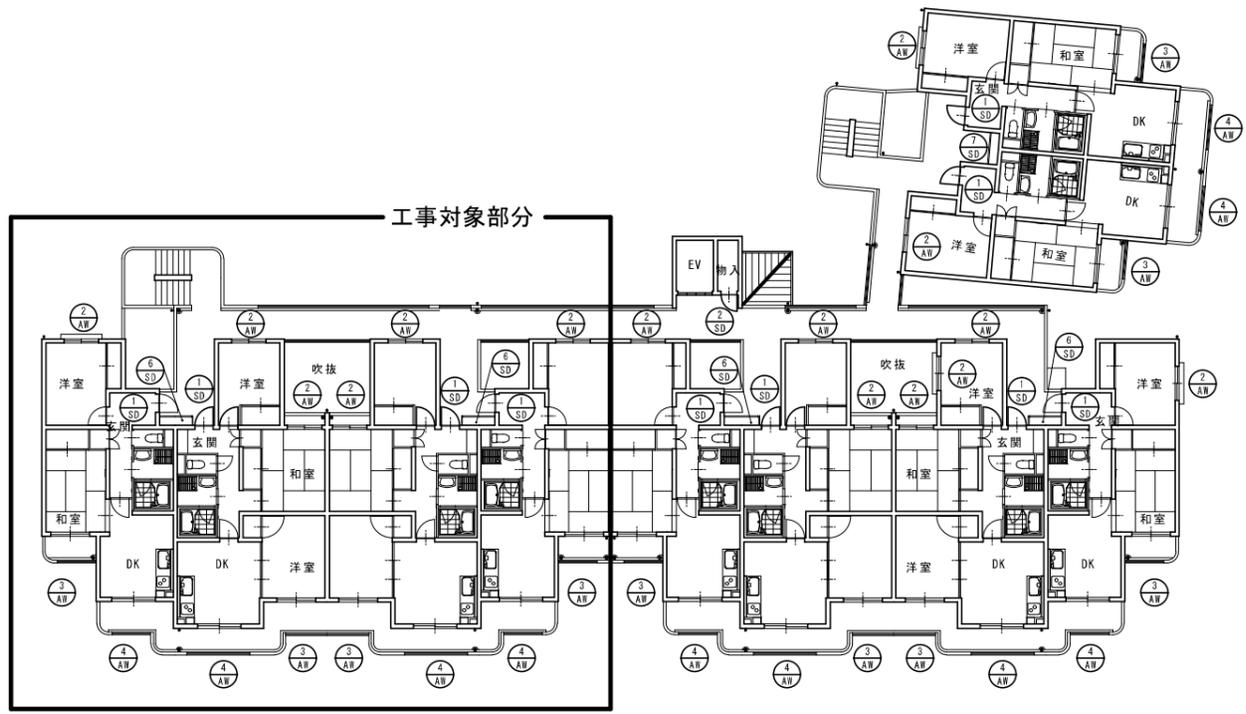
記号	改修前		改修後		備考
	既存仕上		下地処理	改修仕上	
C-1	天井：打ち放しコンクリート、RE吹付（複層仕上塗材RE アクリルエマルジョン系）★		RE吹付アスベスト除去、高圧水洗浄（30Ma）、劣化部補修、下地調整（C-1）	可とう形外装薄塗材Si	
W-1	打ち放しコンクリート、RE吹付（複層仕上塗材RE アクリルエマルジョン系）★		劣化部補修、下地調整（C-1）	防水型複層塗材E（シリコン系トップコート）	



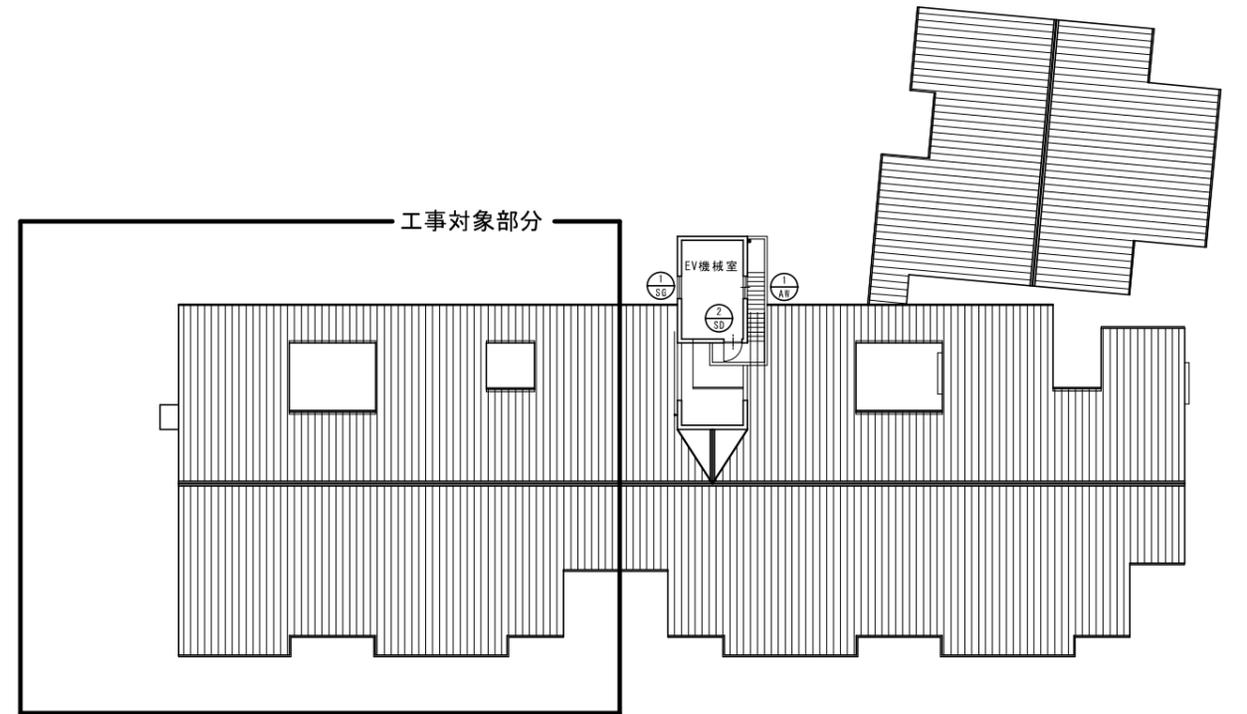
4階天井伏図 S=1/100 特記なき部分は、C-1とする。その他の記号は、別紙外部仕上表参照。

軒裏・天井 仕上

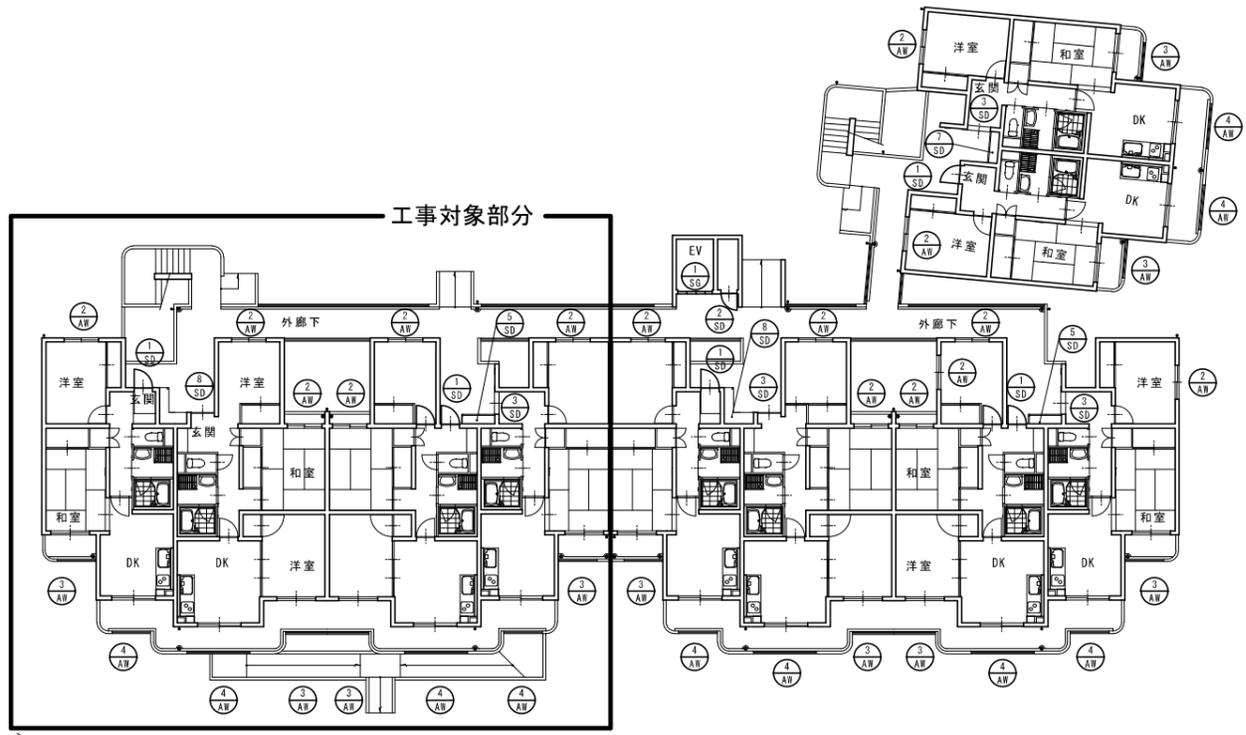
記号	改修前	改修後		備考
	既存仕上	下地処理	改修仕上	
C-1	天井：打ち放しコンクリート、RE吹付（複層仕上塗材RE アクリルエマルジョン系）★	RE吹付アスベスト除去、高圧水洗浄（30Ma）、劣化部補修、下地調整（C-1）	可とう形外装薄塗材Si	
C-2	天井：LGS下地、ポリウレタンt6、RE吹付（複層仕上塗材RE アクリルエマルジョン系）★	水洗い	可とう形外装薄塗材Si	
W-1	打ち放しコンクリート、RE吹付（複層仕上塗材RE アクリルエマルジョン系）★	劣化部補修、下地調整（C-1）	防水型複層塗材E（シリコン系トップコート）	



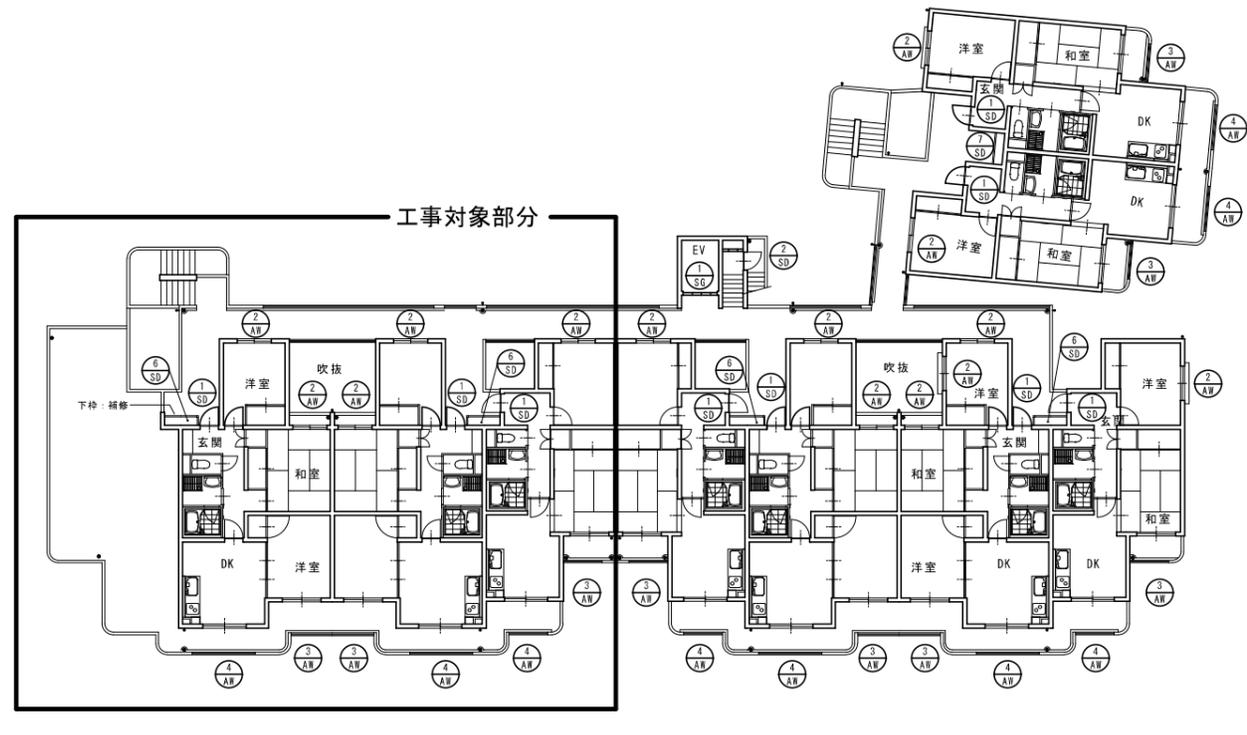
2、3階キープラン S=1/150



PH階キープラン S=1/150



1階キープラン S=1/150



4階キープラン S=1/150



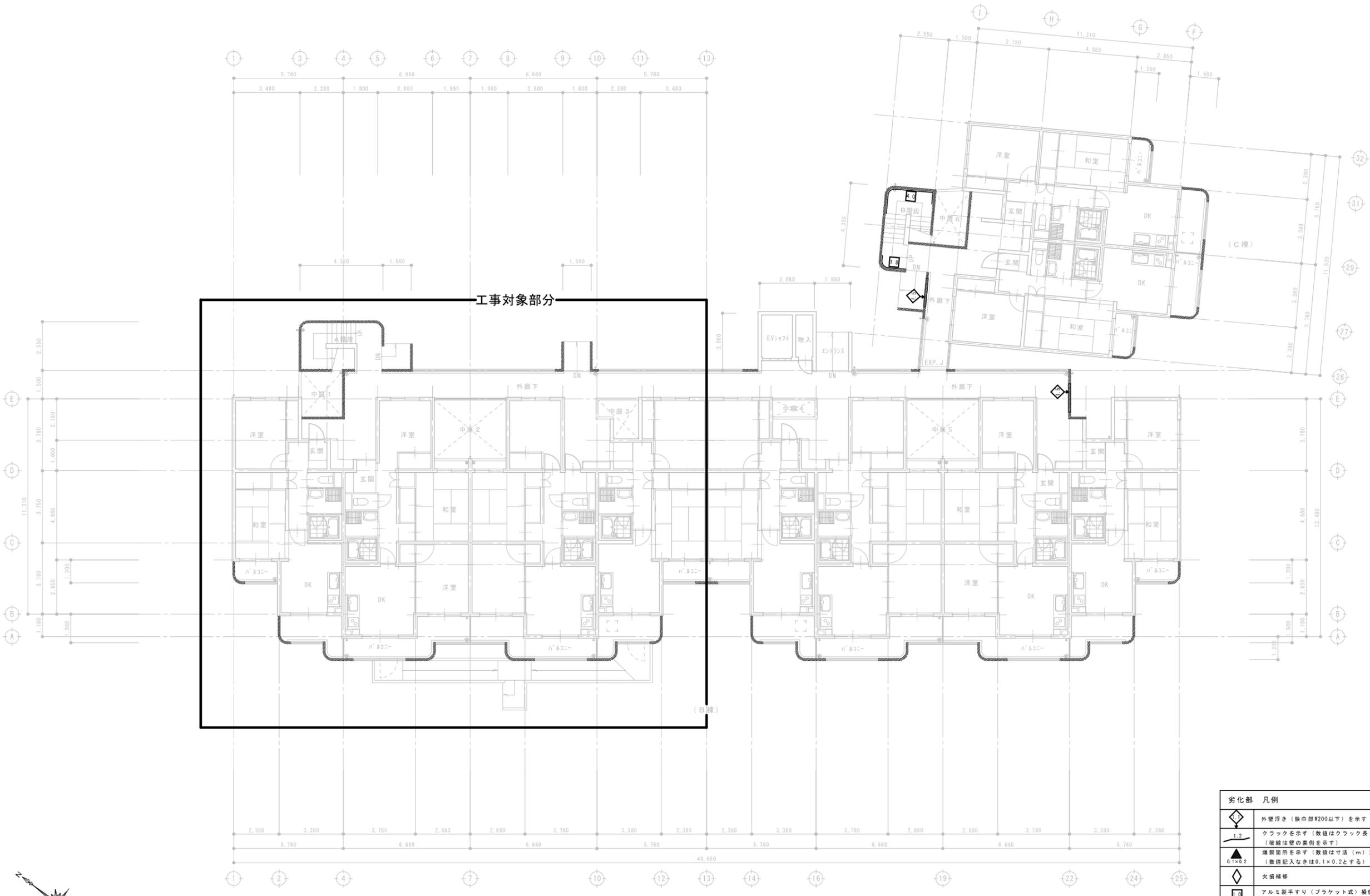
訂正	備考

春日部市都市整備部  
住宅政策課

工事名称 市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事(2号棟2工区)  
図面名称 建具キープラン

図面番号 A-38  
縮尺 A1:1/150  
A3:1/300

符号・数量	① 1 AW	② 2 AW	③ 3 AW	④ 4 AW		⑤ 5 SD
型式・見込	引き違い窓 70	引き違い窓 70	引き違い戸 70	引き違い戸 70		ガラス窓 60
材料・仕上	7&lt;math>7&lt;/math>合金押出型材	7&lt;math>7&lt;/math>合金押出型材	7&lt;math>7&lt;/math>合金押出型材	7&lt;math>7&lt;/math>合金押出型材		SP-M11.6 亜鉛付+OP塗装
使用場所	EV機械室	和室、洋室	洋室、和室	DK		EV機械室
ガラス	網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math>	型板&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>14&lt;/math>	上部：透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>15&lt;/math> 下部：型板&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>14&lt;/math>	上部：透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>15&lt;/math> 下部：型板&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>14&lt;/math>		網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math>
改修内容	網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> 打替 (MS-2) ガラス清掃 (外面)	網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> 打替 (MS-2) ガラス清掃 (外面) 外廊下に面する部分のアルミ製面格子：一時撤去・再取付 (28箇所)	網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> 打替 (MS-2) ガラス清掃 (外面)	網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> 打替 (MS-2) ガラス清掃 (外面)		網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> 打替 (MS-2) 下地処理 (ケレン)・錆止めの上、DP塗装 (外面)
符号・数量	① 1 SD	② 2 SD	③ 3 SD	④ 4 SD	⑤ 5 SD	⑥ 6 SD
型式・見込	片開き戸 80	片開き戸 80	片開き戸 225	欠番	両開き&lt;math>4&lt;/math>扉戸 50	両開き&lt;math>4&lt;/math>扉戸 50
材料・仕上	SP-M11.6 亜鉛付+OP塗装	SP-M11.6 亜鉛付+OP塗装	SP-M11.6 亜鉛付+OP塗装		SP-M11.6 亜鉛付+OP塗装	SP-M11.6 亜鉛付+OP塗装
使用場所	玄関	EV機械室 物入	玄関		MB	MB
ガラス					網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> クリア金網	網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> クリア金網
改修内容	網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> 打替 (MS-2) 下地処理 (ケレン)・錆止めの上、DP塗装 (外面)	網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> 打替 (MS-2) 下地処理 (ケレン)・錆止めの上、DP塗装 (外面)	網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> 打替 (MS-2) 下地処理 (ケレン)・錆止めの上、DP塗装 (外面)		網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> 打替 (MS-2) 下地処理 (ケレン)・錆止めの上、DP塗装 (外面) クリア金網：撤去・新設	網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> 打替 (MS-2) 下地処理 (ケレン)・錆止めの上、DP塗装 (外面) クリア金網：撤去・新設
符号・数量	⑦ 7 SD	⑧ 8 SD				
型式・見込	両開き&lt;math>4&lt;/math>扉戸 50	戸&lt;math>4&lt;/math>-引き戸+両開き&lt;math>4&lt;/math>扉戸 225 50				
材料・仕上	SP-M11.6 亜鉛付+OP塗装	SP-M11.6 亜鉛付+OP塗装				
使用場所	MB	MB				
ガラス	網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> クリア金網	網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> クリア金網				
改修内容	網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> 打替 (MS-2) 下地処理 (ケレン)・錆止めの上、DP塗装 (外面) クリア金網：撤去・新設	網入り透明&lt;math>5&lt;/math>x&lt;math>16.8&lt;/math> 打替 (MS-2) 下地処理 (ケレン)・錆止めの上、DP塗装 (外面) クリア金網：撤去・新設				
訂正						
備考						
春日部市都市整備部 住宅政策課					工事名称 市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事 (2号棟2工区)	図面番号 A - 39
					図面名称 建具表	縮尺 縮尺 A1:1/50 A3:1/100



工事対象部分

1階平面図 S=1/100

凡例  
 ■ : アスベスト除去部分を表す。  
 (手摺壁天端)

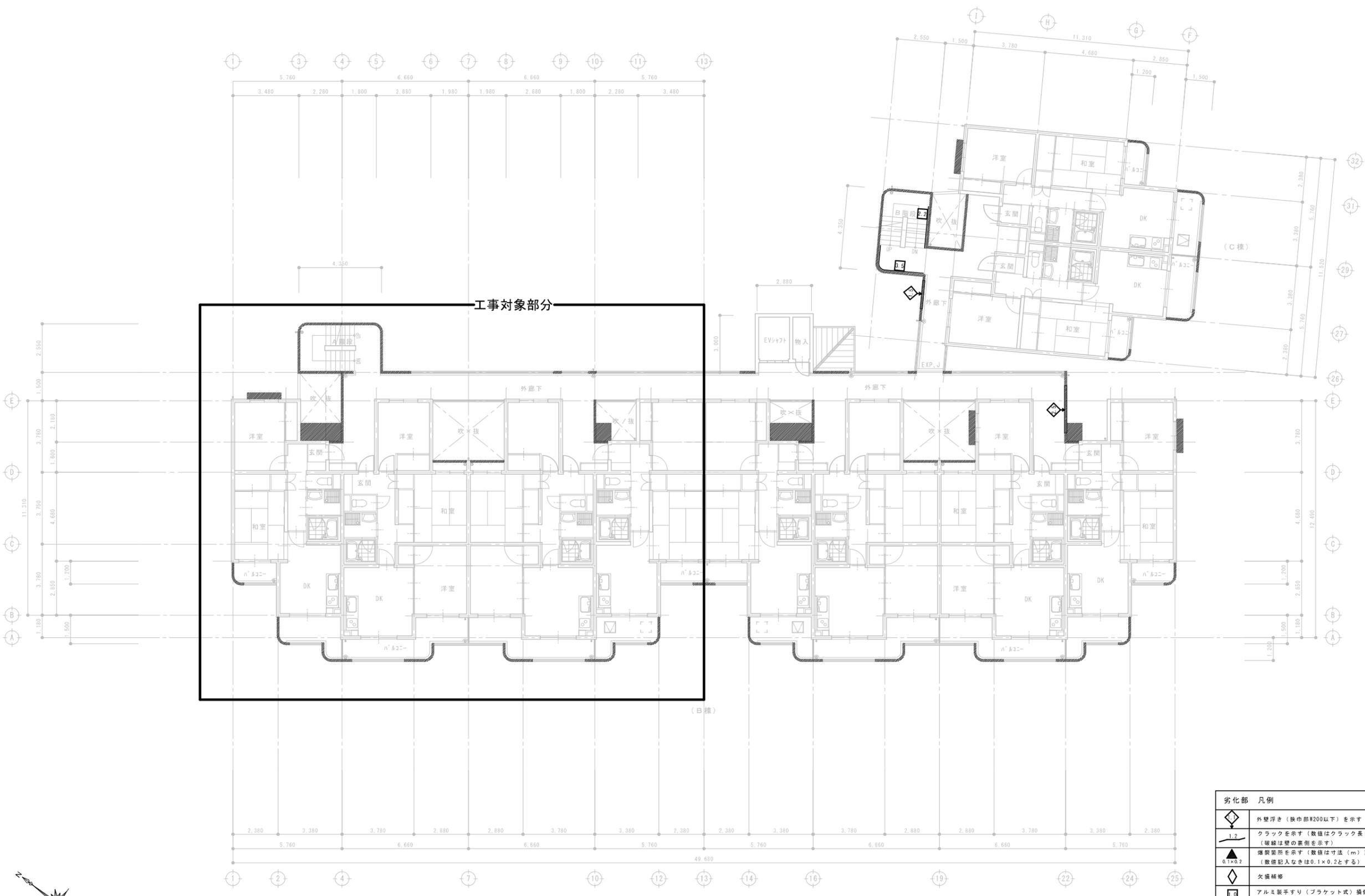
劣化部 凡例	
◇	外壁浮き (狭巾部φ200以下) を示す (数値は浮き長さ (m))
1.2	クラックを示す (数値はクラック長さ (m)) (破線は壁の裏側を示す)
▲	腐食箇所を示す (数値は寸法 (m)) (数値記入なきは0.1×0.2とする)
◇	欠損補修
□	アルミ製手すり (フラケット式) 損傷部 撤去・新設部分を示す (数値は長さ (m))



訂正	備考


春日部市都市整備部  
住宅政策課

工事名称	市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事 (2号棟2工区)	図面番号	A - 40
図面名称	外壁調査図-1 (1階平面図)	縮尺	A1:1/100 A3:1/200



工事対象部分

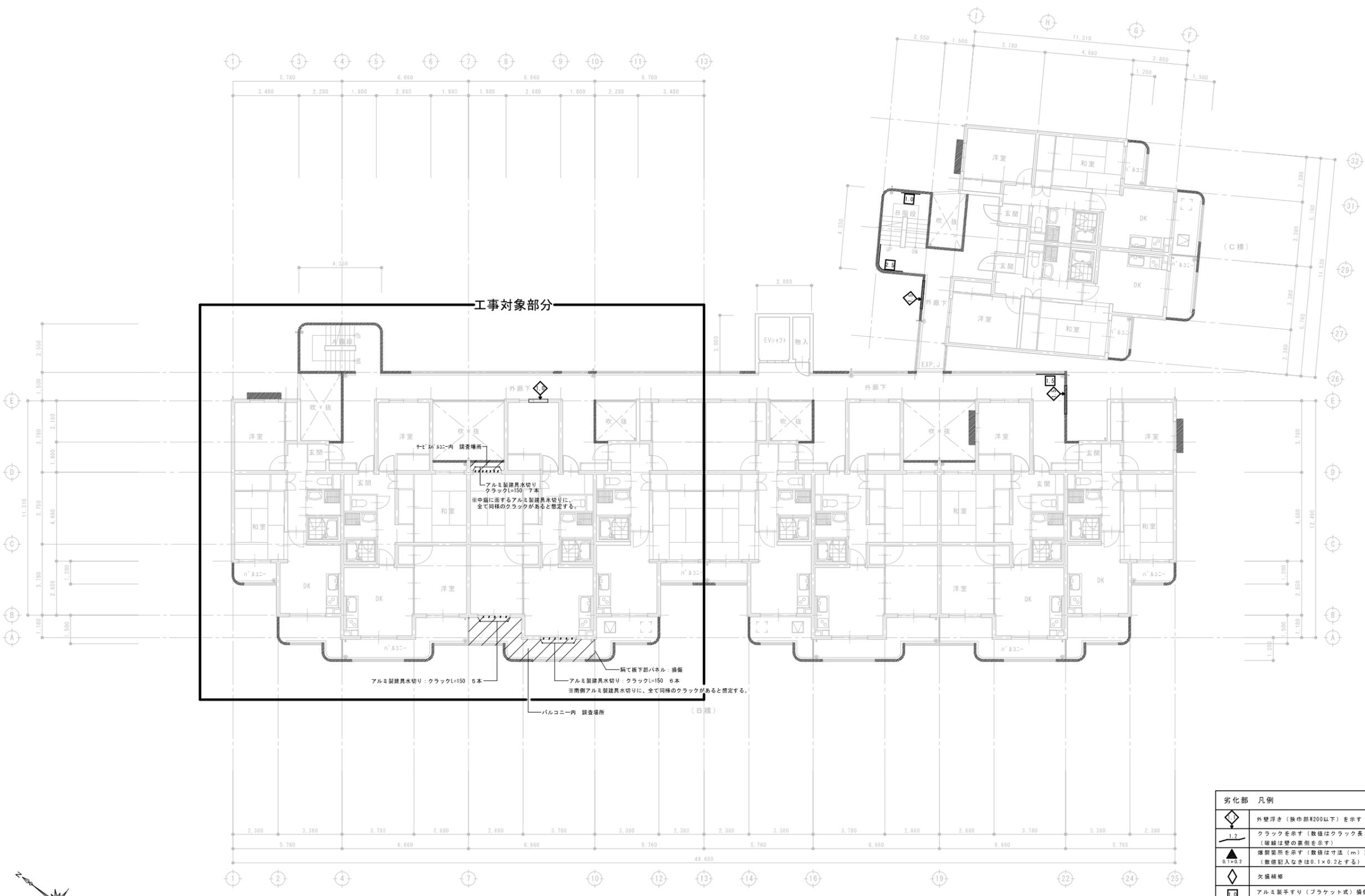
2階平面図 S=1/100

凡例  
 ■ : アスベスト除去部分を表す。  
 (手摺壁天端・直上画)

劣化部 凡例	
	外壁浮き (換巾部 $\phi$ 200以下) を示す (数値は浮き長さ (m))
	クラックを示す (数値はクラック長さ (m)) (破線は壁の裏側を示す)
	補強箇所を示す (数値は寸法 (m)) (数値記入なきは0.1 $\times$ 0.2とする)
	欠損補修
	アルミ製手すり (フラケット式) 損傷部 撤去・新設部分を示す (数値は長さ (m))

訂正	備考

春日部市都市整備部  
住宅政策課



工事対象部分

（B棟）

劣化部 凡例	
	外壁浮き（換巾部R200以下）を示す（数値は浮き長さ（m））
	クラックを示す（数値はクラック長さ（m）） （破線は壁の裏側を示す）
	確認箇所を示す（数値は寸法（m）） （数値記入なきは0.1×0.2とする）
	欠損補修
	アルミ製手すり（フラケット式）損傷部 搬去・新設部分を示す （数値は長さ（m））

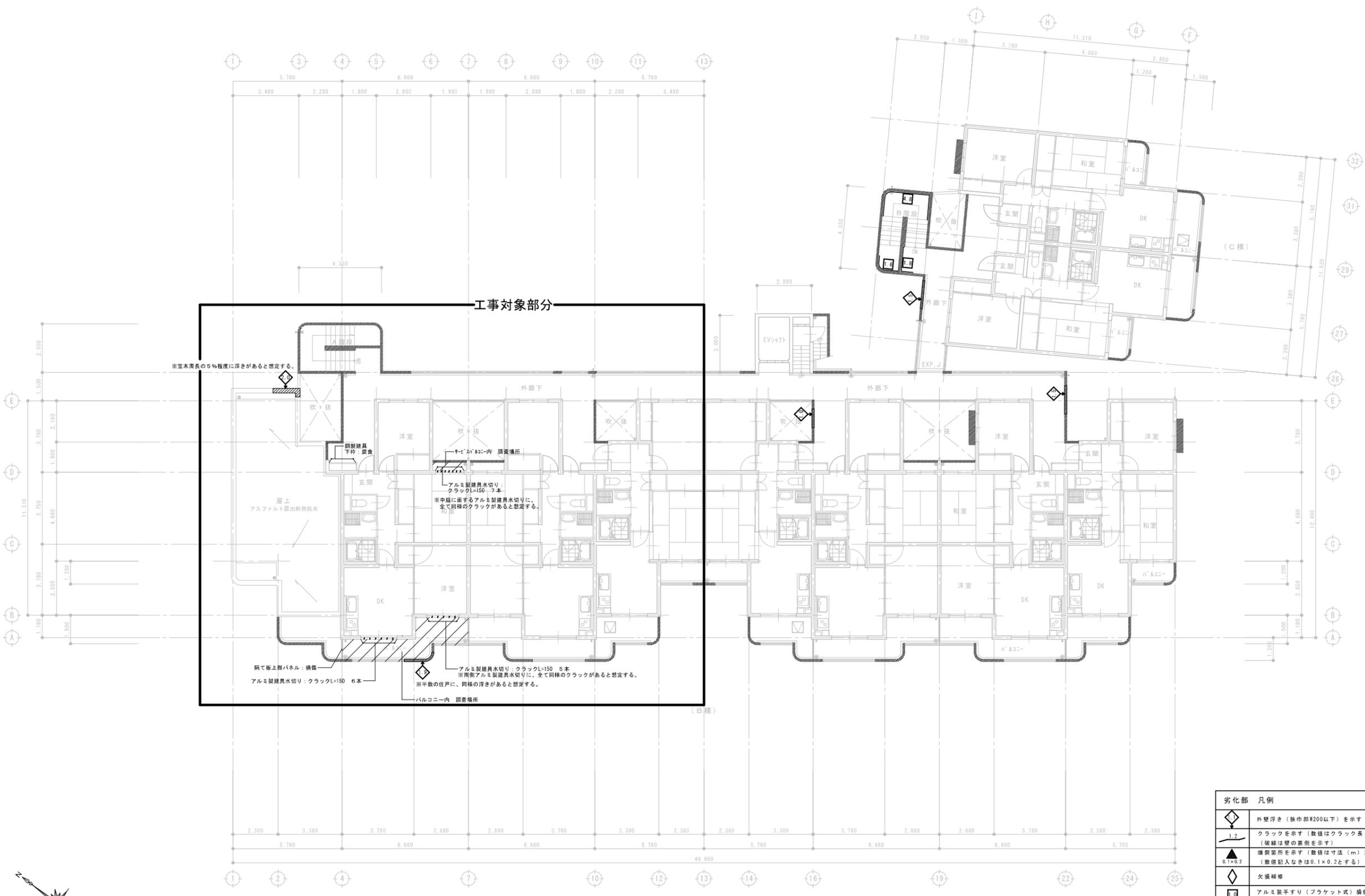
3階平面図 S=1/100

凡例  
 : アスベスト除去部分を表す。  
 （手摺壁天端・直上画）



訂正	備考


春日部市都市整備部  
住宅政策課



※並木周長の5%程度に浮きがあると想定する。

アルミ製建具水切り  
クラックL=150 3本  
※中欄に面するアルミ製建具水切りに、  
全て同様のクラックがあると想定する。

隔て板上部パネル：換気  
アルミ製建具水切り：クラックL=150 6本

アルミ製建具水切り：クラックL=150 5本  
※南側アルミ製建具水切りに、全て同様のクラックがあると想定する。  
※半数の住戸に、同様の浮きがあると想定する。

バルコニー内 調査場所

4階平面図 S=1/100

凡例  
■ : アスベスト除去部分を表す。  
(手前壁天端・直上画)

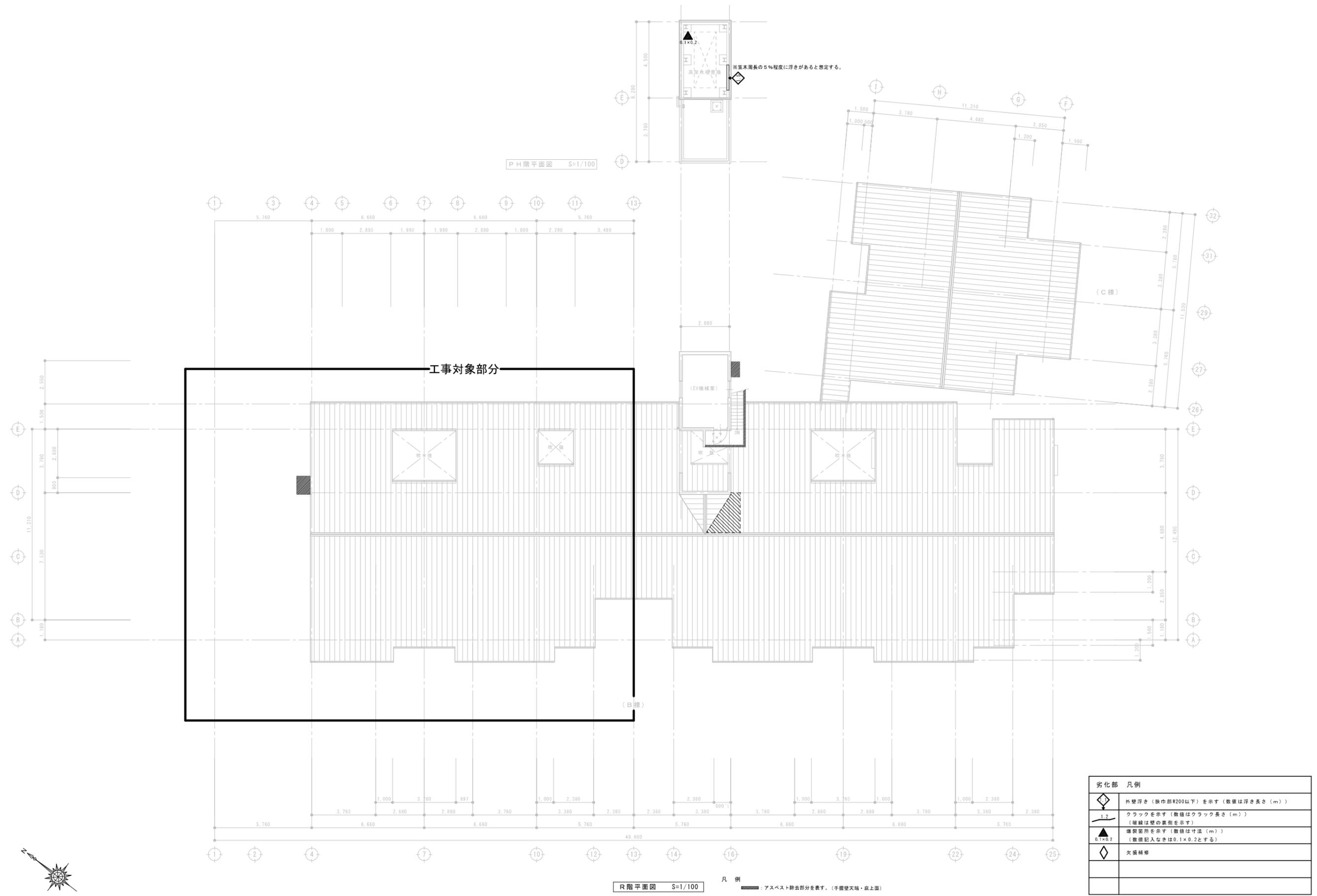
劣化部 凡例	
	外壁浮き (狭巾部φ200以下) を示す (数値は浮き長さ (m))
	クラックを示す (数値はクラック長さ (m)) (破線は壁の裏側を示す)
	構造物損傷を示す (数値は寸法 (m)) (数値記入なきは0.1×0.2とする)
	欠損補修
	アルミ製手すり (フラケット式) 損傷部 撤去・新設部分を示す (数値は長さ (m))



訂正	備考

春日部市都市整備部  
住宅政策課

工事名称	市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事 (2号棟2工区)	図面番号	A - 4 3
図面名称	外壁調査図-4 (4階平面図)	縮尺	A1:1/100 A3:1/200



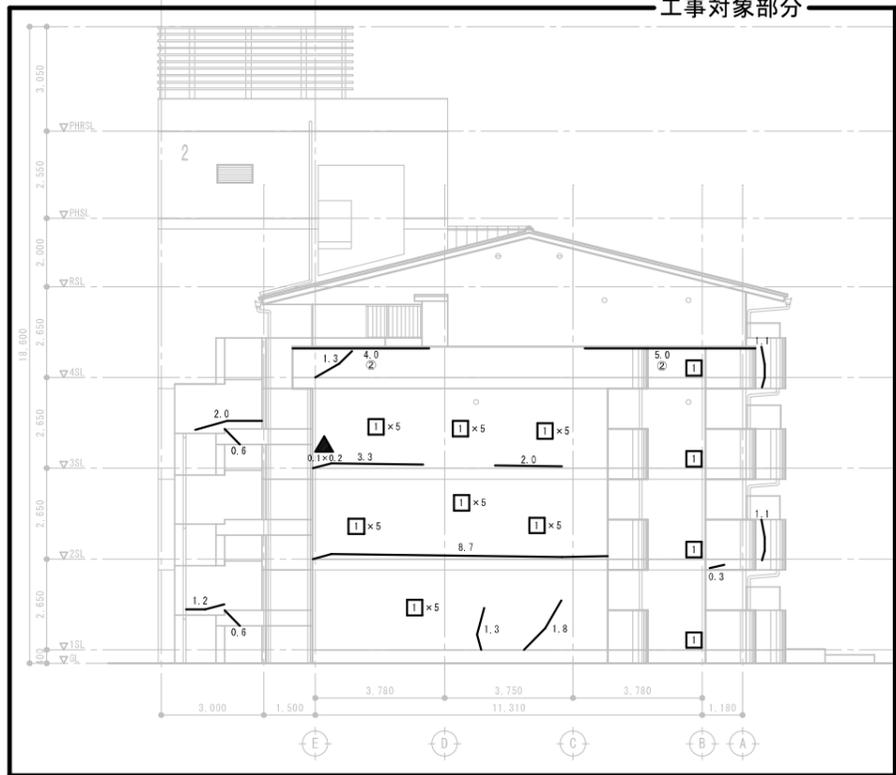
劣化部 凡例	
	外壁浮き (換巾部#200以下) を示す (数値は浮き長さ (m))
	クラックを示す (数値はクラック長さ (m)) (破線は壁の裏側を示す)
	燻製箇所を示す (数値は寸法 (m)) (数値記入なきは0.1×0.2とする)
	欠損補修

R階平面図 S=1/100 凡例 : アスベスト除去部分を表す。(手摺壁天端・庇上画)

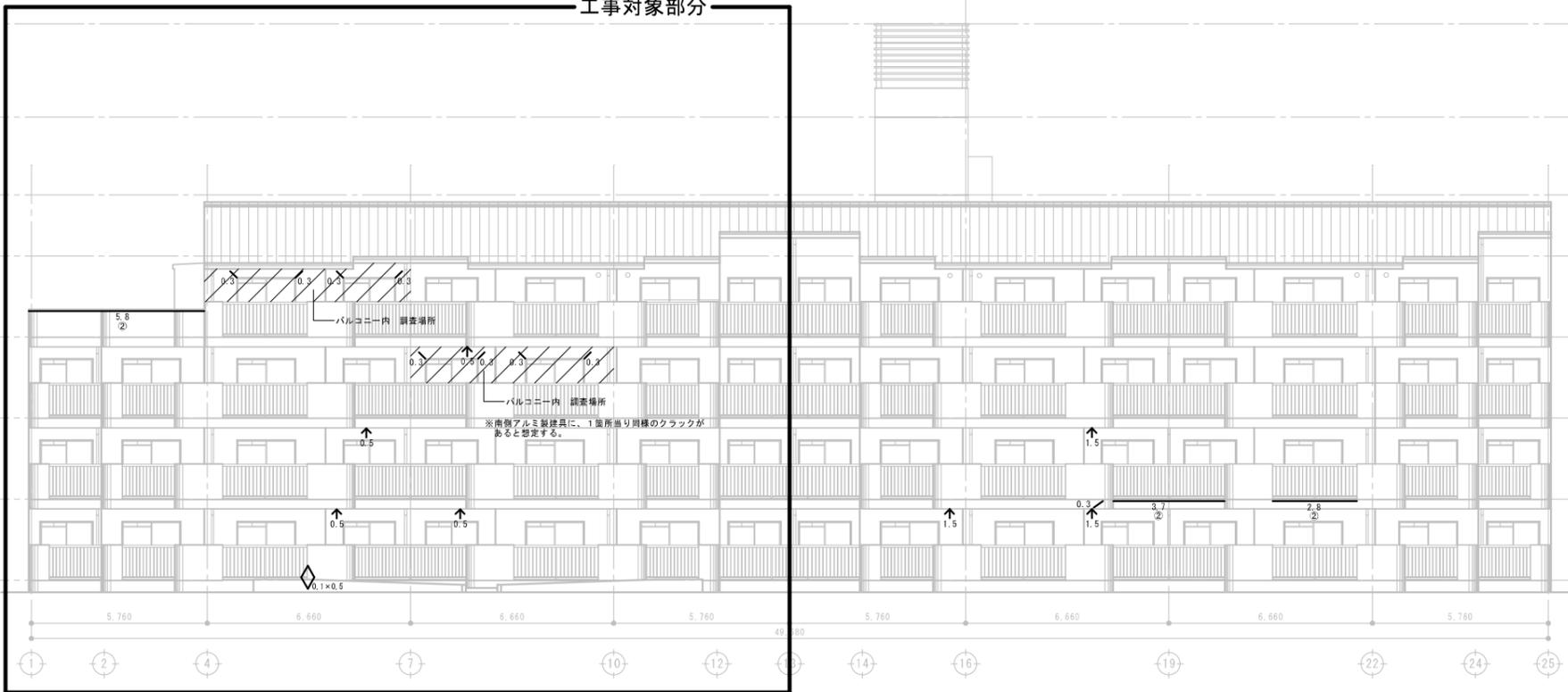
訂正	備考

春日部市都市整備部  
住宅政策課

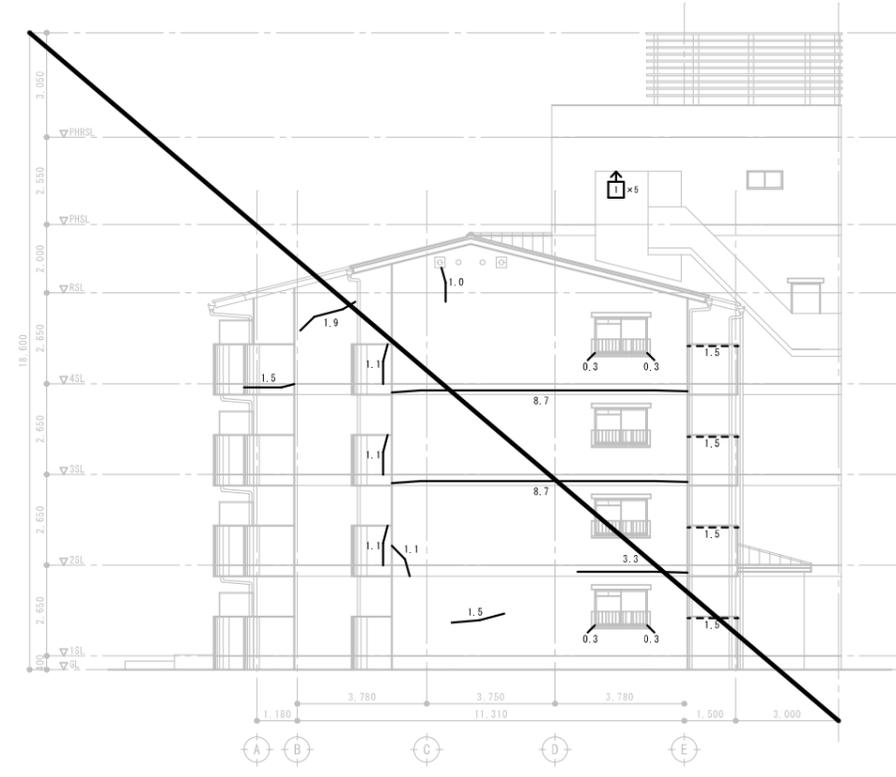
工事名称	市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事 (2号棟2工区)	図面番号	A - 4 4
図面名称	外壁調査図-5 (R、PH階平面図)	縮尺	A1:1/100 A3:1/200



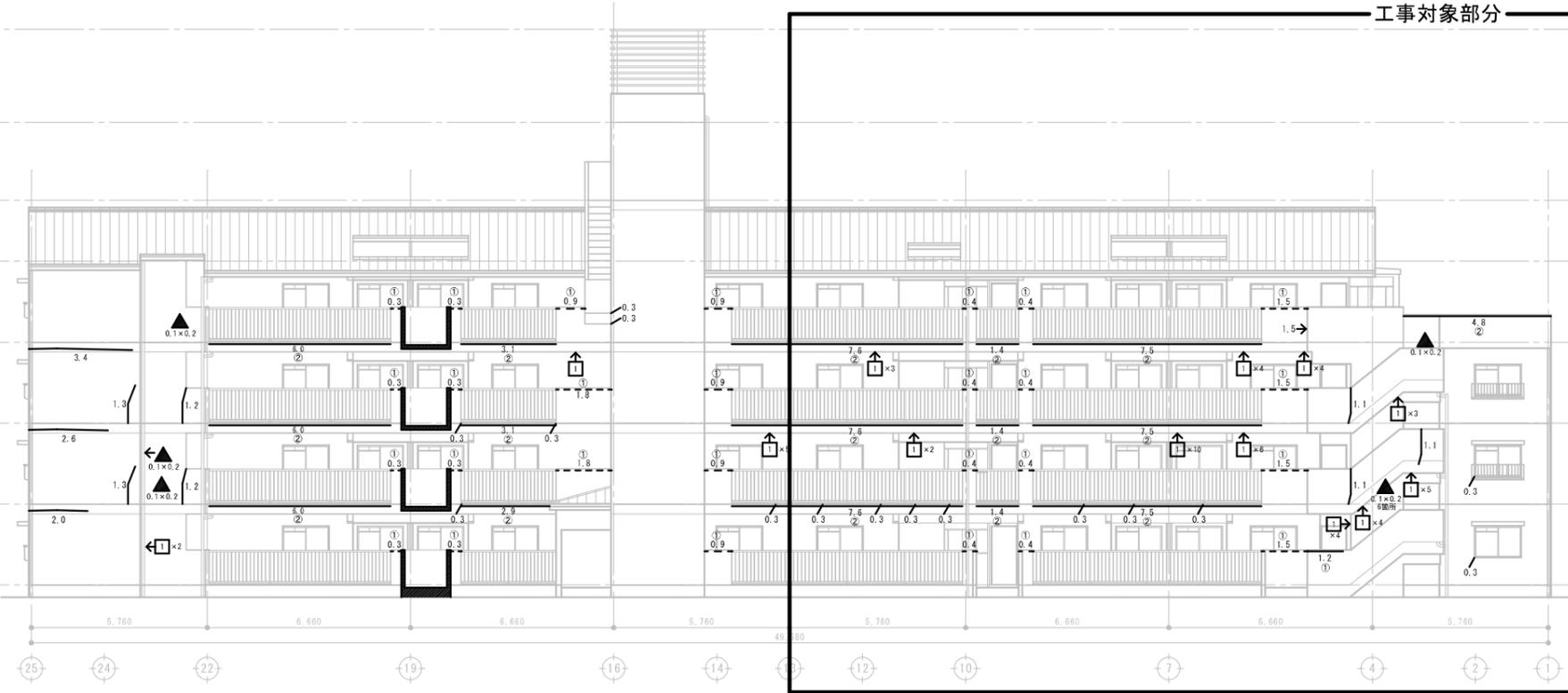
西1立面图 S=1/100



南1立面图 S=1/100

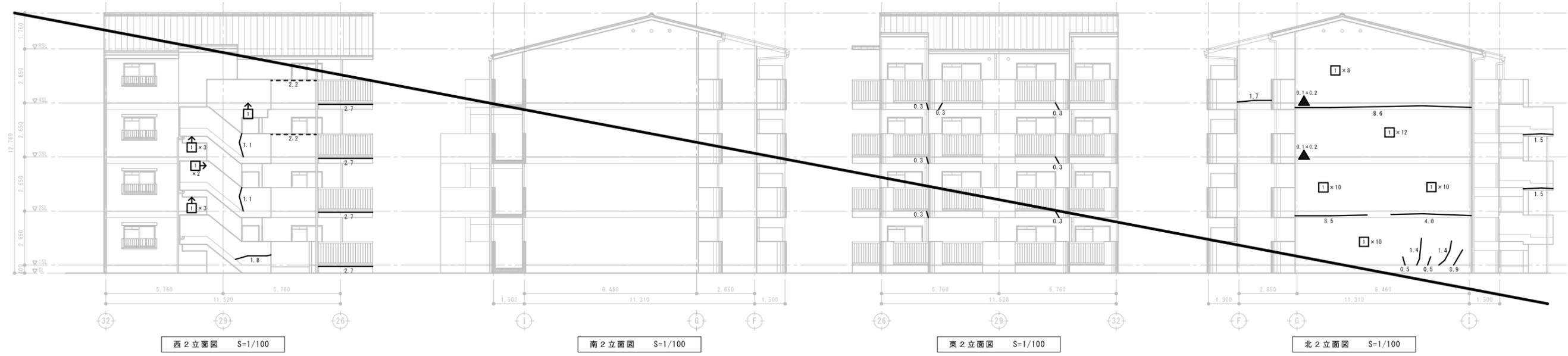


東1立面图 S=1/100



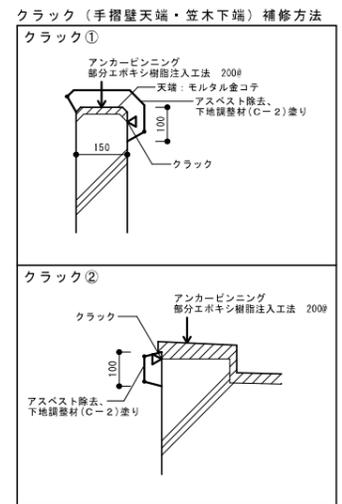
北1立面图 S=1/100

劣化部 凡例	
	外壁浮き（鉄巾部W200以下）を示す（数値は浮き長さ（m））
	クラックを示す（数値はクラック長さ（m）） （破線は壁の裏側を示す）
	増設箇所を示す（数値は寸法（m）） （数値記入なきは0.1×0.2とする）
	欠損補修
	鉄筋位置を示す （大きさは、300×300とする）
	軒裏面・外壁側面を表す。

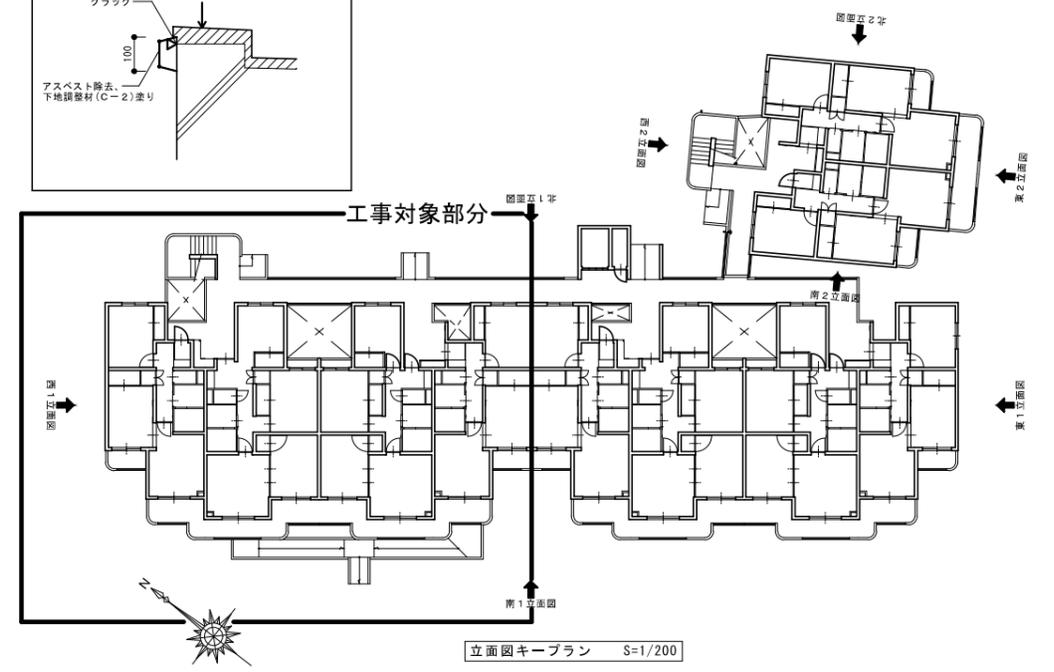


外壁調査 (B棟)	劣化部 改修仕様	アスベスト除去・下地調整
クラック (外壁面)	Uカットシーリング材充填工法	アスベスト除去、下地調整材(C-2)塗り、施工巾は、w100程度とする。
クラック① (外壁下手摺壁天端)	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 200#	アスベスト除去、下地調整材(C-2)塗り、施工巾は、w250程度とする。
クラック② (外壁下笠木下端)	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 200#	アスベスト除去、下地調整材(C-2)塗り、施工巾は、w100程度とする。
腐 蝕 (0.1×0.2)	エポキシ樹脂モルタル充填工法 (露出鉄筋ハンリ、ケレン、防錆材塗布含む)	アスベスト除去、下地調整材(C-2)塗り、施工範囲は、周囲w100程度とする。
欠 損	エポキシ樹脂モルタル補修	アスベスト除去、下地調整材(C-2)塗り、施工範囲は、周囲w100程度とする。
塗膜剥離 (0.1×0.1)		アスベスト除去、下地調整材(C-2)塗り、施工範囲は、0.3×0.3程度とする。
外壁浮き (鉄巾部)		
A1#2-手すり壁天端 (巾150)	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 200#	アスベスト除去、下地調整材(C-2)塗り、施工巾は、w150程度とする。
外壁下手すり壁天端 (巾150)	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 200#	アスベスト除去、下地調整材(C-2)塗り、施工巾は、w150程度とする。
廊上笠木 (巾150)	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 200#	アスベスト除去、下地調整材(C-2)塗り、施工巾は、w150程度とする。
アルミ製建具水切り (巾150)	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 200#	アスベスト除去、下地調整材(C-2)塗り、施工範囲は、周囲w100程度とする。
腐 蝕 (0.1×0.2)	エポキシ樹脂モルタル充填工法 (露出鉄筋ハンリ、ケレン、防錆材塗布含む)	アスベスト除去、下地調整材(C-2)塗り、施工範囲は、周囲w100程度とする。
A1#3-廊下板損傷		
応上面		アスベスト除去、施工範囲は、応上面とする。

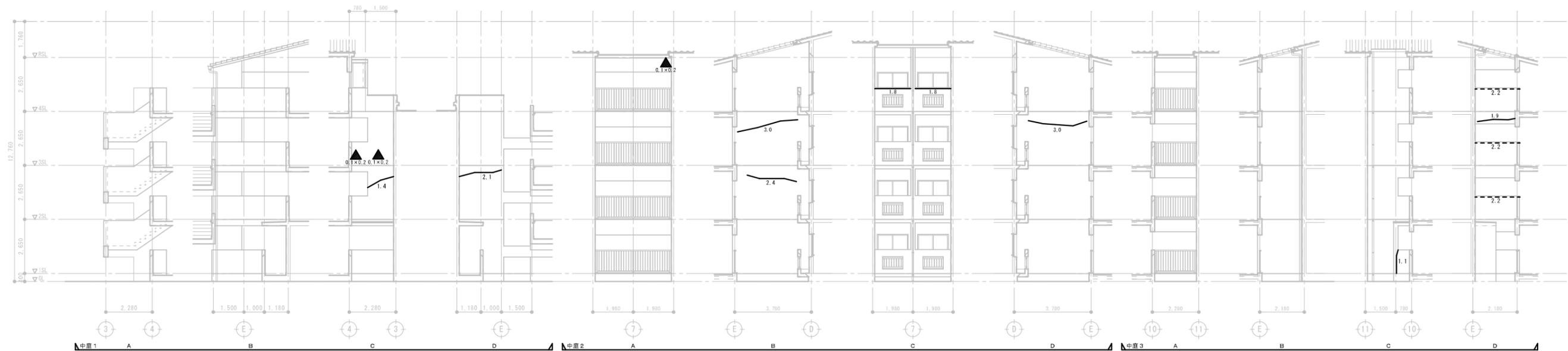
※着手前までに各法令の他、「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉塵飛散防止処理技術指針(国立研究開発法人・建築研究所)」に基づき施工計画書を作成し、監督員の承認を受ける事。  
 ※「建築物等の解体時に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散防止対策マニュアル」に基づき、業種装置付きの工具を使用する場合は、事前に当該工具の集塵性能を示し、監督員の承認を受ける事。  
 ※外部足場設置の壁つなぎアンカーの穿孔については、塗膜の上層装置付きドリルにて行う事。



劣化部 凡例	
	外壁浮き(鉄巾部#200以下)を示す(数値は浮き長さ(m))
	クラックを示す(数値はクラック長さ(m)) (破線は壁の裏側を示す)
	剥離箇所を示す(数値は寸法(m)) (数値記入なきは0.1×0.2とする)
	欠損補修
	塗膜剥離箇所を示す (大きさは、300×300とする)
	軒裏面・外壁側面を表す。



立面図キープラン S=1/200



劣化部 凡例	
	外壁浮き（狭巾部W200以下）を示す（数値は浮き長さ（m））
	クラックを示す（数値はクラック長さ（m）） （破線は壁の裏側を示す）
	漏れ箇所を示す（数値は寸法（m）） （数値記入なきは0.1×0.2とする）
	欠損補修
	塗膜剝離箇所を示す （大きさは、300×300とする）
	軒裏面・外壁側面を表す。

訂正	備考


春日部市都市整備部  
住宅政策課

工事名称	市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事（2号棟2工区）	図面番号	A - 47
図面名称	外壁調査図-8（立面図-3）	縮尺	A1:1/100 A3:1/200

# 特記事項

## 【アスベスト含有仕上塗材・下地調整材除去工事】

- (1) 令和6年2月 厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課/環境省水・大気環境局大気環境課「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」(以下マニュアル)により、下記工法の併用工法とする。  
 [一般部] (7) (湿式) 集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法・同時吸引式(ウォータークリーンSG工法)  
 [狭あい部] (4) (湿式) 集塵装置併用手工具ケレン工法または剥離剤併用手工具ケレン工法
- (2) 石綿除去処理工事に際しては、通常の工事と異なる側面があるため、工事の特殊性を十分確認した上で、専門業者で行うこと。ここでいう専門業者とは、建設技術審査証明(財)日本建築センター)により確立された、「石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術」を取得している業者のことを指す。
- (3) 本施工前に試験施工(隔離養生(負圧不要)の作業場を設置する)を行い、(1)の(7)の工法の作業場内の気中濃度測定結果が10本/L以下を満たすことを確認すること。基準値を満たし隔離措置同等工法と認められた場合は簡易養生で<本施工>を行う(環境省・東京労基署確認済)。基準値を満たさない場合は作業場内をプラスチックシート等にて隔離養生(負圧不要)を行うこと(※)。  
 ※ただし、下記条件を満たす場合は、「隔離養生(負圧不要)と同等以上の効果を有する措置」と判断する(マニュアルp.207)  
 (7) 除去面への散水等の措置を講じながら作業を行うことにより、「常時湿潤な状態に保つ」ことができること  
 (除去作業を行う前に表面に対する散水等では、切断に伴う石綿等の粉じん発生抑制措置としては不十分)  
 (4) 集塵装置を備えたカバー付きの工具にて、同時吸引状況下での施工を行うこと  
 (4) 当該集塵装置付き工具の集じん装置として、作業中の作業場所における総繊維濃度が10本/Lを下回ることを
- (3) 本施工は以下の項目を遵守して行うこと。

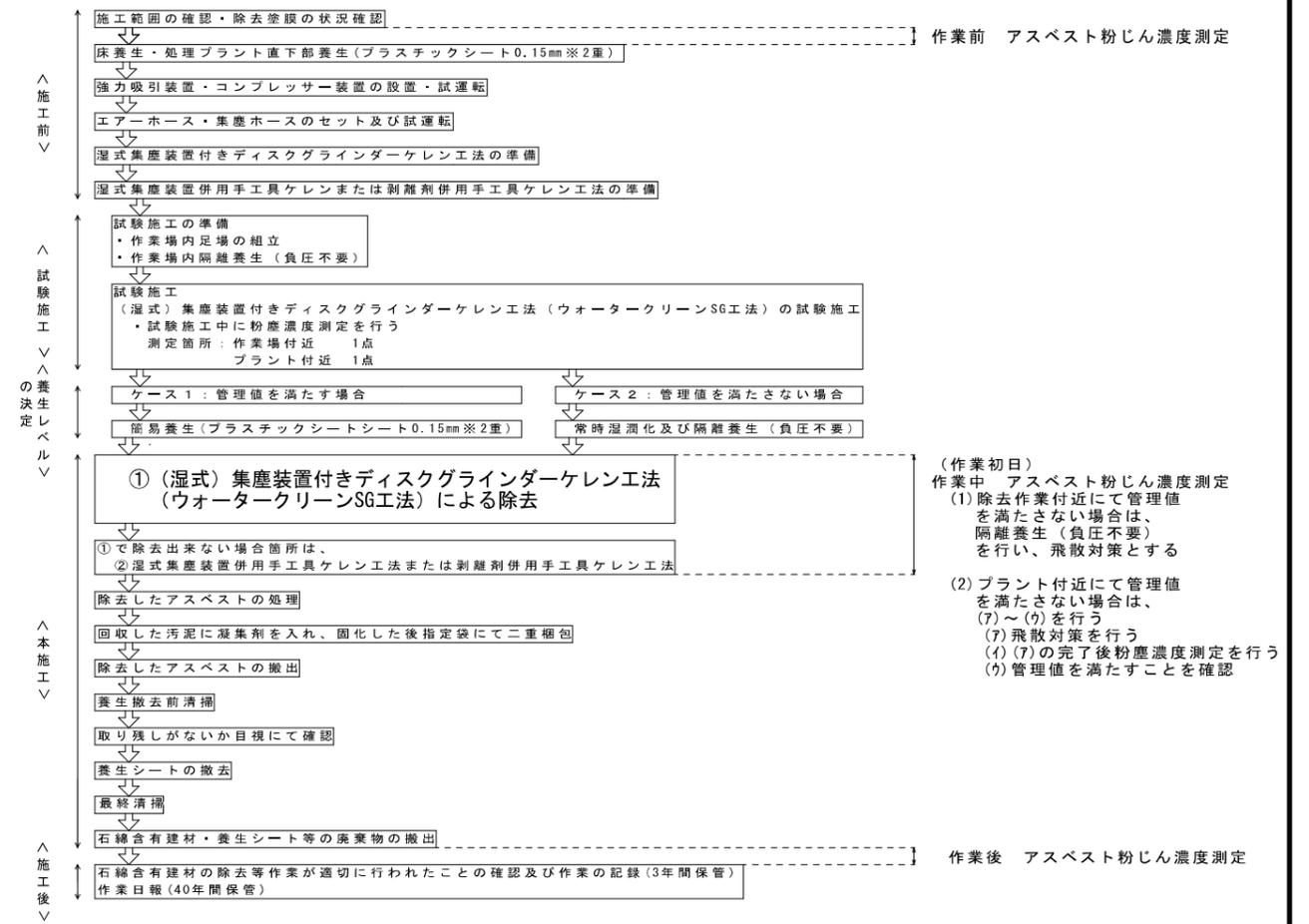
項目	特記仕様	管理方法																																	
工事計画	「特定石綿含有建材調査者」の参画を前提とする。																																		
吸引機の圧力と風量	吸引圧力/真空圧 -20~-25kPa 風量 3.66m <sup>3</sup> /分	撮影 臨機に仕様書提出																																	
吸引時の排気濾過	HEPAフィルター	撮影																																	
水処理(濁水処理内容)	凝集剤を使用し固化	撮影																																	
アスベスト粉じん濃度測定	速報値で管理値(10本/L以下)を満たしていることを確認する。  (7) 試験施工の場合 <table border="1"> <tr><td>測定時期</td><td>測定箇所</td><td></td></tr> <tr><td>作業中</td><td>プラント付近</td><td>1点</td></tr> <tr><td></td><td>作業場内付近</td><td>1点</td></tr> <tr><td colspan="3">合計2点</td></tr> </table>  (4) 本施工の場合 <table border="1"> <tr><td>測定時期</td><td>測定箇所</td><td>測定時間</td></tr> <tr><td>作業前</td><td>敷地境界 4方向各1点</td><td>計4点 240分</td></tr> <tr><td>作業中</td><td>敷地境界 4方向各1点</td><td>240分</td></tr> <tr><td></td><td>プラント設置付近</td><td>1点 120分</td></tr> <tr><td></td><td>除去作業付近</td><td>1点 120分</td></tr> <tr><td>作業後</td><td>敷地境界 4方向各1点</td><td>計4点 240分</td></tr> <tr><td colspan="3">合計14点</td></tr> </table>	測定時期	測定箇所		作業中	プラント付近	1点		作業場内付近	1点	合計2点			測定時期	測定箇所	測定時間	作業前	敷地境界 4方向各1点	計4点 240分	作業中	敷地境界 4方向各1点	240分		プラント設置付近	1点 120分		除去作業付近	1点 120分	作業後	敷地境界 4方向各1点	計4点 240分	合計14点			第三者機関にて測定
測定時期	測定箇所																																		
作業中	プラント付近	1点																																	
	作業場内付近	1点																																	
合計2点																																			
測定時期	測定箇所	測定時間																																	
作業前	敷地境界 4方向各1点	計4点 240分																																	
作業中	敷地境界 4方向各1点	240分																																	
	プラント設置付近	1点 120分																																	
	除去作業付近	1点 120分																																	
作業後	敷地境界 4方向各1点	計4点 240分																																	
合計14点																																			
廃材処理	(1) HEPAフィルター付き吸引装置を使用した同時吸引式工法により外気に触れることなく密閉状態で安全に集積する。 (2) 集積した濁水・塗膜は凝集剤を使用し固化した後、プラスチック袋(0.15mm以上)で2重梱包する。	撮影																																	
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(1) 除去したアスベスト含有材等を搬出するまでの間現場に保管する場合は、石綿含有産業廃棄物として一定の保管場所を定め、他の建設副産物等と分別して保管する。 (2) 一時保管場所はシートで覆うなどの飛散対策を講じ、アスベスト含有材等の保管場所であることを掲示する。 (3) アスベスト含有材等の運搬車及び運搬容器は、アスベスト含有材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。 (4) 運搬車の荷台には覆いをかけるなど飛散防止措置を講じる。 (5) 除去したアスベスト含有材の処分はマニュアル基準にて適正に最終処分場の一定の場所で埋め立て処分する。	撮影																																	

(4) 特記仕様に記載された以下の項目は施工完了後報告書として提出すること。

項目	特記仕様	報告方法
吸引時の圧力と風量	吸引圧力/真空圧 -20~-25kPa 風量 3.66m <sup>3</sup> /分	写真 臨機に仕様書提出
吸引時の排気濾過	HEPAフィルター	写真
水処理(濁水処理内容)	凝集剤を使用し固化	写真
アスベスト粉じん濃度測定	管理値(10本/L)以下	第三者機関の報告書
廃材処理	(1) 飛散防止状況 (2) 二重梱包状況	写真
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(1) 一時保管庫での保管状況 (2) 一時保管庫および看板設置状況 (3) 石綿含有産業廃棄物搬出状況 (4) 石綿含有産業廃棄物シート掛け状況 (5) 石綿含有産業廃棄物最終処分場	写真

- (5) 石綿含有建材の除去等作業が適切に行われたことの確認及び作業の記録  
 石綿の取り残しがないこと等の確認・記録の手順として、マニュアルの4.15(p.225)に従って行う。  
 ・4.15.1 作業が適切に行われたことの確認の流れ  
 ・4.15.2 作業の記録、確認及び記録の保存  
 ・4.15.3 石綿の取り残しがないこと等の確認方法  
 ・4.15.5 発注者への報告

## 【アスベスト含有仕上塗材除去工事フロー図】



## 【同時吸引式プラント設置図(平面図)】

- (1) 機材設置場所から除去面の最長距離は100m程度。  
 (2) 機材設置位置は縦に1列縦列も可能。

